

宮代町健康増進計画及び食育推進計画における令和4年度の事業実施状況調査結果について

1. 令和4年度の実施状況

	(1) 歯・口腔の健康	(2) 栄養・食生活	(3) 身体活動・運動	(4) 休養・こころの健康	(5) 健診・検診	(6) 社会環境の整備
計画に基づき実施中	12	26	19	16	19	17
計画に基づき概ね実施中	0	5	2	0	0	3
計画を一部変更して実施中	1	4	1	0	0	0
今後、計画に基づき実施予定	0	0	0	0	0	0
未実施または事業終了	2	1	4	0	0	2
合計（回答延べ事業数）	15	36	26	16	19	22

2. 取組の詳細

次頁以降参照

宮代町健康増進計画及び食育推進計画 事業実施状況調査票（令和4年度分）

（1）歯・口腔の健康 目標「いつまでも自分の歯でしっかり噛もう」

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の実施内容、効果等		令和5年度の実施内容、効果等	担当	
		実施内容、効果等	課題、改善点等	令和5年度の実施内容、効果等 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)		
P39 (1)-1	<b>ママ・パパ教室での歯科保健指導</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	【上記の詳細】 年3コース開催。延べ17名へ歯科衛生士による講話及びブラッシング指導を行った。妊産婦の歯の健康に加え、子どもの歯の健康についても情報提供した。	自身の歯の健康について、また子どもの歯の健康についても学べる機会となった。参加人数の増加に伴い、指導に割ける時間が限られることから、染め出し薬を持ち帰りにし、全員の口腔内と歯ブラシチェックに重点を置き個別指導を行った。	引き続き、歯の知識の普及を行っていく。参加者の人数を鑑み、個別指導の内容を検討しながら実施する。	健康増進 担当
	妊婦に歯や口腔の健康を保つための講話とブラッシング指導を実施します。	【上記の詳細】				
	令和4年度の実施予定 引き続き感染予防を徹底し、歯科衛生士による講話及びブラッシング指導を年3回実施する。					
P39 (1)-2	<b>乳幼児健康診査時の歯科保健指導</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	【上記の詳細】 1歳6か月児健診、3歳児健診それぞれ年12回実施し、歯科健診受診人数は合計460人、フッ素塗布は218人に行っている。歯科健診でむし歯のある子に対してパンフレットを渡し、歯科衛生士による個別指導で幼児期のむし歯予防や仕上げ磨きのやり方を説明した。1歳6か月健診では親子教室の案内チラシを配布した。	1歳6か月健診でむし歯ありは1人、3歳児健診では43人（R3年度は17人）に増加。しかし、小集団の保健指導を中止しているため、1子に対する情報提供の場が減っている。指しゃぶりやむし歯予防についての指導は重要である。	歯の知識の伝達や食生活、仕上げ磨きの保健指導を行っていく。	健康増進 担当
	1歳6か月児、3歳児の健診で、歯科検診及び歯科保健指導を実施します。	【上記の詳細】				
	令和4年度の実施予定 健診で歯科についての状況をよく伺い、必要に応じて個別で対応していく。健診で全員に歯科リーフレットを配り、情報提供をする。					
P39 (1)-3	<b>●親子教室の開催</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	【上記の詳細】 2歳児の親子を対象とした教室を年12回、46組に実施した。1歳6か月児健診では事業案内のチラシを配布、各月の参加対象者には個別通知を行った。親と子1組に対し歯科衛生士1人で感染予防のため個別対応し、染出しとブラッシング指導を行った。歯の汚れをチェックして磨き方指導を行うといった、個々に応じた指導は好評を得ている。	3歳児健診でのむし歯ありの人数が増加しているため、正しい歯磨き習慣を定着させる必要がある。乳幼児期の保護者への指導は重要である。	参加者が安心して参加できるように引き続き必要な感染予防策を講じながら、対象者が多くの参加できるように集団での保健指導を行っていく。保護者自身への歯みがき指導等で正しい知識と情報を提供する。	健康増進 担当
	親と子にブラッシング指導等を行い、歯や口腔の健康の保持増進を図ります。	【上記の詳細】				
	令和4年度の実施予定 引き続き感染予防を徹底し、歯科衛生士によるブラッシング指導を月1回、定員8組にて実施する。1歳6か月児健診時にチラシを配布し教室の周知を行い、参加対象時期には個別通知を発送する。感染状況が落ち着いた際は、集団教室での開催を検討する。					

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P39 (1)-4	●40歳の健康教育の実施	【取組状況】 計画に基づき実施中	感染症対策を講じながら、より多くの希望者に支援ができるよう、体制を整えることが必要。	歯科衛生士による小集団でのブラッシング指導を実施する。	健康増進担当
	40歳の方を対象に歯科口腔の健康増進を図ります。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	「40歳の健活講座」を実施し、5名に歯科衛生士による歯周病予防の話と個別ブラッシング指導を実施した。参加者は熱心に聞いており、質問も出ていた。「磨けていないところがわかりよかった」という感想が聞かれ、一人ひとりに丁寧な指導ができた。			
	引き続き感染予防を徹底し、歯科衛生士による個別ブラッシング指導を実施する。				
P39 (1)-5	知っ得！けんこう講習の開催	【取組状況】 計画に基づき実施中	自らの口腔ケアを見直すきっかけとして有効な染め出し実習は、感染症対策として中止している。今後、感染状況を見ながら、歯の染め出し実習を再開し、指導を充実させる必要がある。	来所しやすい気候である10月に開催し、参加者の増加を図る。また、感染症対策として中止していた歯の染め出し実習を再開し、自らの口腔ケアを可視化することで、生活習慣の改善を促す。	健康増進担当
	成人を対象に歯科に関する講話及び実習を通して、生活習慣の改善を促します。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	参加しやすいように、真夏の暑い時期を避け7月開催とした。引き続き、定員数の限定や換気等の感染症対策をとった。ポスター掲示、チラシ配布で周知を行い、電話での参加勧奨も実施した。			
	・参加者増加に向けて、開催月の変更を検討する。 ・参加者同士の距離を置くといった感染防止対策を引き続きとる。 ・周知やポスター掲示等で事業周知を強化する。				
P40 (1)-6	●歯の健康に関する情報提供や意識啓発	【取組状況】 計画に基づき実施中	歯の健康に関しては、自分から積極的に情報を得ようとする意識が低いと、引き続き歯の健康に関する情報提供を行うことは重要である。	引き続き、集団健（検）診等に来所された方や健康教育等に参加された方に歯の健康に関する情報提供を行っていく。	健康増進担当
	健康教育等でDVDやパンフレット等を用いて、歯の健康についての情報提供を行います。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	健康長寿サポーター養成講座内でパワーポイントを使用し、正しい歯磨きの必要性和方法、歯の健康の大切さを伝えた。また、集団健（検）診の待ち時間にDVD（歯周病を予防しよう～健康は歯周病の予防から～）を用いて情報提供を行い、健活講座では「歯周病とからだの病気」についてパンフレットを配布した。			
	引き続き、集団健（検）診等に来所された方や健康教育等に参加された方に歯の健康に関する情報提供を行っていく。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P40 (1)-7	<b>親子歯磨き教室の開催</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	歯科衛生士の確保が必要。	子育てひろば、各支援センターで歯磨き教室が実施できるよう検討していく。	こども笑顔担当
	子育て中の親子（1歳から2歳）に、歯科衛生士を講師に迎え、正しい歯みがき方法を学ぶ機会を設けます。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定 コロナ感染予防策をし、子育てひろば、各支援センターで歯磨き教室が実施できるよう検討していく。	子育てひろば（6月）、子育て支援センターげんきっ子（5月）で歯科衛生士による親子歯磨き教室を実施。			
P40 (1)-8	<b>歯科検診の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	・検診を受けたが、治療の進展が見られない園児が見られた。個別対応をおこなう関心を高めていく必要がある。	・引き続き、年2回の検診を実施する。受診率が上がるよう、事前に検診日を保護者に周知していく。	みやしろ保育園 国納保育園
	園児や保護者が歯と口に対する関心を高め、健康状態を把握します。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定 検診日の事前周知（園だより・保健だより等を利用）を徹底し、受診できるよう呼びかけ受診率を上げる。	年2回、検診を実施。園だよりや保健だよりにて事前周知を実施した。保護者に検査結果を通知し、治療の進展が見られない園児には個別に通院を促した。			
P40 (1)-9	<b>●歯磨き指導の実施</b>	【取組状況】 計画を一部変更して実施中	・感染対策が変更となり、安全な歯磨き習慣の検討が必要である。	・歯磨き中の事故、怪我防止を踏まえた歯磨き習慣確立の検討をする。 ・引き続き、看護師による園児への歯磨き指導の他、紙芝居やクイズなどを通して歯磨きの大切さを伝える。	みやしろ保育園 国納保育園
	保育園では、3歳児から歯みがき指導を実施します。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定 看護師による園児への含嗽・歯磨き指導を実施し、歯と口を清潔にする大切さを伝える。	幼児クラス（3～5歳児クラス）にて看護師による保健指導を実施。園児に歯の大切さを伝えた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、園での歯磨きを中止。朝夕、家庭で歯磨きを行ってもらうよう保護者へ周知した。園児には紙芝居等で歯の大切さ、歯磨きの大切さを伝えた。			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P40 (1)-10	<b>歯科健診の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	・コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染対策をしながら、計画的に実施することができた。	・引き続き、児童生徒を対象に、歯科健診を実施する。 ・健診後の治療についても引き続き指導していく。	各小・中学校 学校教育 担当
	児童生徒を対象に、歯科健診を実施します（定期と臨時として年2回）。	【上記の詳細】 児童生徒を対象に、歯科健診を実施した。健診後の治療状況を定期的に確認し、通院していない家庭には再度治療するよう促している。			
	令和4年度の取組予定 ・引き続き、児童生徒を対象に、歯科健診を実施する。 ・健診後の治療についても引き続き指導していく。				
P40 (1)-11	<b>●学校保健委員会による歯科保健指導、歯と口の健康週間等の設定による指導の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	・コロナウイルス感染症拡大防止のため、外部から人を入れるのが難しい状況もあるため、オンラインや映像資料等を効果的に活用するなど、校内でもできるように引き続き工夫をしていく。	・引き続き、時間を調整し、年間指導計画に組み込み、計画的に学校保健委員会を設置することで、歯科医による歯科保健指導等、歯の健康教育に取り組む。 ・引き続き、歯科医や歯科衛生士、養護教諭、担任による歯みがき指導を実施する。	各小・中学校 学校教育 担当
	・学校保健委員会では、歯科医による歯科保健指導を行う等、学校ごとに歯の健康教育に取り組みます。 ・歯科医や歯科衛生士による歯みがき指導を実施します。	【上記の詳細】 担任や養護教諭を中心に、歯磨き指導等を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン等を活用しながら歯科医による歯科保健指導等の実施をした。			
	令和4年度の取組予定 ・引き続き、時間を調整し、年間指導計画に組み込み、計画的に学校保健委員会を設置することで、歯科医による歯科保健指導等、歯の健康教育に取り組む。 ・引き続き、歯科医や歯科衛生士、養護教諭、担任による歯みがき指導を実施する。				
P40 (1)-12	<b>歯科医師会との連携による成人歯科指導の実施</b>	【取組状況】 未実施または事業終了	・歯科医師会の協力体制の確保が必要である。	・口腔ケアの導入は引き続き関係機関と協議する。	国保・後 期担当
	特定健診等の検査項目への口腔ケアの導入について検討し、町内の歯科医師と連携した事業の実施を目指します。	【上記の詳細】 ・特になし (検査項目への口腔ケアの導入について、過去に南埼玉市医師会管内市町（久喜、蓮田、白岡）と協議をしたが見送りとなっている。）			
	令和4年度の取組予定 ・検査項目への口腔ケアの導入に向け、引き続き関係機関と協議を続ける。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P40 (1)-13	<b>特定保健指導等での歯科指導の実施</b>	【取組状況】 未実施または事業終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導のプログラムの変更。</li> <li>・歯科医師会の協力体制を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健センターの管理栄養士、町歯科医師会と協議する。</li> </ul>	国保・後期担当
	特定健診の受診者に対する保健指導等において、歯科衛生士の導入を目指します。	【上記の詳細】 ・特になし			
	令和4年度の取組予定 ・事業開始に向け、保健センターの管理栄養士、町歯科医師会と協議し、特定保健指導のプログラムを変更し、町歯科医師会との協力体制を構築する。				
P40 (1)-14	<b>埼玉県後期高齢者医療制度健康長寿歯科検診の受診促進</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県全体で受診率が低く(令和3年度8.7%)、受診率向上が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き実施する。</li> </ul>	国保・後期担当
	高齢者医療制度健康長寿歯科検診の受診促進に努めます。	【上記の詳細】 ・埼玉県後期高齢者医療広域連合が75歳・80歳の被保険者に対し、歯科健診の受診を勧奨した。			
	令和4年度の取組予定 従来同様、実施については広域連合から対象者へ直接周知。	1.実施時期 令和4年7月から令和5年1月 2.対象者 1,023人 ※令和3年度 818人			
P40 (1)-15	<b>●健口教室等の開催</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	町の介護予防事業に参加していない方への参加の促進していく。	引き続き国保データベースを利用した個別案内を行い教室参加の効果が高い方への周知を検討していく。	高齢者支援担当
	自己チェックシートで対象となる方に対し、口腔機能の向上を目的とする教室を実施します。	【上記の詳細】 町の介護予防事業と広報9月号および、国保データベースを利用した個別案内で周知を行い、1回あたり2名定員で教室を実施した。			
	令和4年度の取組予定 国保データベースを利用した個別案内を行う。	夏コース1名・秋コース3名の参加があった。			

宮代町健康増進計画及び食育推進計画 事業実施状況調査票（令和4年度分）

(2) 栄養・食生活（食育推進計画） 目標「バランスのとれた食生活を身につけ、食を楽しもう」

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P42 (2)-1	<b>ママ・パパ教室での栄養指導</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	夫婦での参加が可能となったため、参加者自身だけでなく、家族での食事改善を促せるような指導としていく必要がある。	夫婦での参加を想定し、食事内容のチェック表を準備し、家族での食事改善を促していく。	健康増進 担当
	妊婦に講話や調理実習を通じて、妊娠中の適切な食生活を促します。	【上記の詳細】 春・夏・冬の3コース開催し、31名が参加した。栄養指導は、2日間の日程の内、1日目に実施した。講義内容を見直し、自宅での実践をより促すものとした。食事バランスの取り方については、パワーポイントで写真を用い視覚的にも分かりやすく示し、食事改善につながるよう工夫した。			
	令和4年度の取組予定 講義内容、配布資料を見直し、より分かりやすい栄養指導を行う。				
P42 (2)-2	<b>乳幼児健康診査での栄養指導</b>	【取組状況】 計画を一部変更して実施中	感染状況を見ながら、食習慣の基礎を作る乳幼児期での食事を見直す機会を充実させる必要がある。	5月より、すべての乳幼児健診での栄養講話を再開し、適切な食習慣の形成を促す。	健康増進 担当
	4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児健診時に発育や栄養状態の確認をし、適切な食習慣を身につけるよう促します。	【上記の詳細】 感染症対策のため、乳幼児健診を受診した第一子の保護者に行っていた栄養講話は、4か月児健診のみ小集団で実施した。離乳食の試食なしで実施していたが、12月より試食を再開した。希望制の個別相談では、相談内容に沿って指導にあたった。4か月児健診受診者の内、第一子の保護者へ集団講話を73名に実施、乳幼児健診時の個別相談を69名に実施した。			
	令和4年度の取組予定 ・4か月児に加えて、10か月児の第一子の保護者への栄養講話を検討する。 ・感染症対策として、引き続き相談時間と集団講話を縮小して実施するため、指導内容・指導媒体を見直す。				
P42 (2)-3	<b>離乳食教室の開催</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	より多くの方に離乳食について、学ぶ機会提供する必要がある。また、事業内容を改良し、参加者の理解が深まる支援が求められている。	定員を10名に拡大して実施する。また、食感や大きさ等の形態をより分かりやすく伝えるため、試食メニューを改良する。	健康増進 担当
	4か月児健診を受けた方（生後10か月まで）を対象に、講話や試食を通じて離乳食のすすめ方について学べる機会を設けます。	【上記の詳細】 年6回実施し、52名が参加した。感染症対策のため、定員は8名とした。少人数制のため、個々の悩み・疑問に応じた指導を行うことができた。また、感染状況を鑑み、11月より希望者のみ試食を再開した。			
	令和4年度の取組予定 ・教室の流れを見直し、感染症対策を講じたうえで、定員増加を検討する。 ・講話や指導媒体は、参加者の声を参考に引き続き改良していく。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P42 (2)-4	<b>親子教室での栄養指導</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	よりよい食習慣の形成を促す機会とする為、感染状況を見ながら、支援内容を充実させていく必要がある。	5月の教室から集団での栄養講話を再開する。	健康増進 担当
	幼児の保護者を対象に、よりよい食習慣の形成のための講話を行います。	【上記の詳細】 感染症対策のため、集団での講話は実施しなかった。親子教室参加者の内、個別指導を希望した2名に指導を実施した。個別指導のため、丁寧な指導を行うことができた。配布資料は既存資料を活用することとし、参加者全員に配布した。			
	令和4年度の取組予定 ・引き続き感染症対策として、講話の実施はなしとする。感染者数等によっては実施を検討する。 ・配布資料の見直しを行う。				
P42 (2)-5	<b>●幼児食教室の開催</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	実習の形式や定員について、感染状況を見ながら適宜見直し、幼児期の健全な食生活について支援を充実させる必要がある。	感染状況を見ながら、試食の有無・定員は判断していく。献立は、保護者の食の悩みに沿ったものを引き続き立案する。	健康増進 担当
	幼児の保護者を対象に、講話や調理実習を通じて幼児期の健全な食生活について学べる機会を設けます。	【上記の詳細】 11月に参加希望者の5名に実施した。調理実習を行ったが、試食は無しとし、完成品は持ち帰りとした。持ち帰った物は、保護者による2時間以内の喫食をお願いした。魚を使ったメニューは、参加者から「普段魚を食べないので参考になった」「思っていたよりも簡単にできた」と特に好評であった。			
	令和4年度の取組予定 感染状況に応じ、実習形式の有無について臨機応変に対応できるような企画とする。なお、献立考案時は衛生面に留意するものとする。				
P43 (2)-6	<b>祖父母教室での栄養指導</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	参加者が少ないため、教室形式の事業形態を見直す必要がある。	教室形式での支援ではなく、個別相談にて支援する。	健康増進 担当
	祖父母が子育て中の親のよき支援者となるよう、乳幼児の食に関する正しい情報を提供します。	【上記の詳細】 10月に実施し、2名が参加した。少人数だったため、参加者一人ひとりに丁寧に対応できた。			
	令和4年度の取組予定 教室の開催は参加しやすい時期を検討し、広報やホームページの他、チラシの配布等を行い事業を積極的に周知する。				



計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P43 (2)-7	<b>親子料理教室の開催</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	感染対策を講じつつ、食への関心を深める機会となるような事業運営が求められる。	実習形式を基本とし、定員や教室室内での喫食の実施について検討し、より安全に、より多くの町民に啓発できる事業とする。	健康増進 担当
	小学生及びその保護者を対象に、講話や調理実習を通じてよりよい食生活の実践や食への関心を高める機会とします。	【上記の詳細】 8月17日に食生活改善推進員協議会委託事業として開催し、小学生の親子5組が参加した。			
	令和4年度の取組予定 感染状況に応じ、実習形式の有無について臨機応変に対応できるような企画とする。なお、献立考案時は衛生面に留意するものとする。	実習に使用する食材についてクイズ形式を用いて講話を行い、献立3品について調理実習を行った。調理台1台につき親子1組とスタッフ1名が実習を行い、感染対策を講じた。親子で調理工程を楽しみながら、家庭での実践を促す内容とした。			
P43 (2)-8	<b>●知っ得！けんこう講習での栄養指導</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	感染状況を見ながら、調理実習を再開することで、より実践的な知識・技術の習得を促す。また、講座テーマの見直し、新規参加者の獲得及び継続参加者の増加を図る必要がある。	調理実習を再開する。また、防災をテーマとした栄養講座の開催や、食品ロス削減の視点を取り入れ、参加者の多様な生活習慣に働きかける。	健康増進 担当
	成人を対象に、講話や調理実習を通じて栄養・食生活に関する知識の普及や、生活習慣病の予防を促します。	【上記の詳細】 年3回実施し、32名が参加した。調理実習はせず、講話を中心として実施した。年間スケジュールのチラシを作成し、講座の継続参加を促したことにより、参加人数の増加につながった。			
	令和4年度の取組予定 ・感染症対策として、実習はせず講話を中心として年3回実施する。 ・新規参加者が増えるように、周知媒体を改良する。また、継続して参加していただけるよう次回周知をより重点的に行う。				
P43 (2)-9	<b>骨粗しょう症検診での栄養指導</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	感染状況を見ながら、自宅での実践を促すための試食を通じた栄養指導の再開を検討する。	指導媒体としての試食再開を検討するが、難しい場合はレシピやフードモデルを展示することで、視覚的に訴えることで改善を促す。	健康増進 担当
	骨粗しょう症検診を受けた方に、講話や試食の提供により骨粗しょう症予防に向けた食生活の改善を促します。	【上記の詳細】 骨粗しょう症検診時に244名に栄養指導を実施した。指導内容は、短時間でも要点が伝わるように、3食分の献立パネル等の媒体を用いた。配布レシピは、人の導線を考えて配置することで、より多くの方に手に取っていただけるよう努めた。			
	令和4年度の取組予定 ・指導内容や媒体を見直す。 ・配布するレシピは設置箇所が重複しないよう配慮する。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P43 (2)-10	<b>貯骨（ちょこっ）とクッキング！の開催</b>  骨粗しょう症検診を受けた方に、講話や調理実習を通じて骨粗しょう症予防に向けた食生活の改善を促します。 令和4年度の取組予定 ・感染症対策として実習は中止するため、レシピや指導媒体、配布資料の改良を行う。 ・指導の中で個々で気を付けたい食習慣を見つけ、改善していけるよう引き続き分かりやすい指導を行う。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	感染状況を見ながら、調理実習の再開を検討する。食事バランスチェック表等で自らの食生活を振り返る時間を引き続き設け、指導内容を自宅でも取り組めるよう留意する。	実際の調理を通じた指導を行うことで、食生活改善を促すための調理実習の再開を検討する。	健康増進 担当
		<b>【上記の詳細】</b> 7月に1回、15名に骨粗しょう症検診のフォローアップ教室として実施した。当日は、フードモデルや食品型紙等、視覚的にも分かりやすい媒体を準備し、家庭で食事を準備する際に役立つ内容となるように努めた。また、自らの食生活を振り返る時間としてバランスチェック表の記入を実施した。			
P43 (2)-11	<b>栄養相談の実施</b>  食事に関する相談を行い、子どもから大人までよりよい食生活を促します。 令和4年度の取組予定 オンライン相談について積極的に周知を行う。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	来所による面談やオンライン、電話といった様々な相談方法を設け、ニーズに応じた手法で相談に応じる。	保健センター事業参加者等へ向けて、本事業について積極的に周知を行い、希望者には適切な支援を行う。	健康増進 担当
		<b>【上記の詳細】</b> 乳幼児38名、成人22名に栄養相談を実施した。相談方法は、来所での個別相談または電話にて行った。参加したきっかけとしては、保健センターガイドや特定保健指導参加で知った等があった。また、オンラインでの相談は、広報やホームページ、チラシ等で周知したが、利用の希望はなかった。			
P43 (2)-12	<b>健康レシピの普及</b>  ホームページや窓口で、健康づくりのためのレシピを提供します。 令和4年度の取組予定 家庭で取り組みやすい献立を考案し、ホームページや各施設等で広く発信する。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	より良い食生活の普及に向け、特に若い世代の悩みに多い「献立作成」や「バランスの良い食事」といった課題解決に向けた支援が必要である。	親子向けレシピを掲載するホームページ「こどもクッキング」を充実させる。	健康増進 担当
		<b>【上記の詳細】</b> 野菜摂取量の増加や減塩の取組の啓発として、「みやしろ健康レシピ」と称し、町ホームページに34品を新規に掲載した。紙媒体を保健センター、役場、新しい村、図書館、スーパー等に設置した他、所内事業来所者に配布した。また、産業観光課と連携して宮代産食材を用いたレシピを3品考案し、動画を制作して広く周知した。さらに、「こどもクッキング」と称し、親子向けレシピを掲載したホームページ記事を公開した。			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P43 (2)-13	● <b>栄養・食生活、食育に関する情報提供や意識啓発</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	町の健康課題の解決に向けた情報提供を行うことが必要である。	健康指標に定めるバランスの良い食生活の普及や、減塩の取組を啓発する媒体を作成し、所内外に展示し情報提供する。また、フォトコンテストを通じて、市民の実践する取組を紹介しながらより良い食生活を啓発する。	健康増進 担当
	集団健診時や食育月間時に展示やリーフレットを配布するとともに、随時広報やホームページ等で食に関する情報提供を行います。 <b>令和4年度の取組予定</b> 健康指標であるバランスの良い食生活の普及や、減塩の取組を啓発する媒体を作成し、所内ロビー等に展示し情報提供する。	【上記の詳細】 食育月間である6月に、図書館で食に関する媒体を展示した。6月～7月に「健幸レシピフォトコンテスト」を開催し、83作品の応募があった。9月に受賞結果を公表し、作品を通じて市民が取り組む食の健康づくりを紹介した。10月には集団健診の実施に合わせ、市販品に含まれる油脂や塩分を示した媒体を掲示し、受診者により良い食生活を促す機会とした。			
P43 (2)-14	● <b>特定保健指導「みやしろ健康会」での栄養指導</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	事業への参加を促し、対象者のリスクの改善を図る。	感染防止策を講じた上で、調理実習といった実践性のある事業運営を検討し、理解の深まる支援に努める。	健康増進 担当 国保・後 期担当
	特定健診を受診し、メタボリックシンドローム予備群または基準該当となった方に、生活習慣の改善を促します。 <b>令和4年度の取組予定</b> 感染防止策を講じた上で、理解の深まる指導内容や媒体作成に取り組む。また、対象者には事業風景の写真や参加者の声を紹介し、参加者の拡大に努める。	【上記の詳細】 特定保健指導対象者に、栄養講座や個別相談、食事記録票を用いた助言により食生活の改善を支援した。栄養講座では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来の調理実習は中止し、グループワークや配布資料の改良により、より理解の深まる指導に努めた。			
P43 (2)-15	<b>血糖コントロール教室の開催</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	個別アドバイスは、食生活改善に有効であり、引き続き設けていく必要がある。調理実習等、より理解の深まる事業運営について、検討が必要である。	指導内容や配布資料を見直し、食事改善を促す個別アドバイスの時間を引き続き設けていく。感染状況を見ながら、調理実習を再開し、家庭での実践的な取組を促す。	健康増進 担当 国保・後 期担当
	健康診断等で糖代謝異常の方に、糖尿病の一次予防・重症化予防に向けた食生活の改善を促します。 <b>令和4年度の取組予定</b> 指導内容や配布資料の改良を行う。教室中に紹介するレシピについても、日々の食事に取り入れていけるような食生活改善のポイントを踏まえたレシピの作成に引き続き努める。	【上記の詳細】 3日間コースで、延べ50名に実施し、糖尿病予防の食生活に関わる講話は1、3日目に行った。食生活に関する指導として、個別アドバイスの時間を設けた。レシピの紹介では、調理や食事バランスを調えるためのポイントを分かりやすく伝えるため、写真を用いるなど工夫した。			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P43 (2)-16	<b>食の安心サロンの開催</b>  子育て中の母親に、子育て世代を対象とした食の安全・安心に対する理解を深めます。 <b>令和4年度の取組予定</b> コロナ感染予防策をし、子育てひろば、各支援センターで食育講座が実施できるよう検討していく。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	栄養士の確保が必要。	子育てひろば、各支援センターで食育講座が実施できるよう検討していく。	子ども笑顔担当
		<b>【上記の詳細】</b>			
		子育てひろば（1月）で栄養士による食育講座を実施。			
P44 (2)-17	<b>アレルギー食への対応</b>  保護者がアレルギーを確認できるよう事前に献立を配布するとともに、給食室を担当の保育士でチェックするなど配慮します。 <b>令和4年度の取組予定</b> 対象児の家庭と毎月の給食献立確認をはじめ連携を密にとり、家庭での食事の状況も把握する。誤食等の緊急対応訓練を実施する。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき概ね実施中	・今後も家庭と連携を深め、情報交換を行いながら、日々誤食予防に努める必要がある。	・引き続き、家庭と連携を図り、献立表によるアレルギーの確認や家庭との情報共有を行う。	みやしろ 保育園 国納保育園
		<b>【上記の詳細】</b>			
		園児のアレルギー状況を把握するため、年度初めに受診をし、アレルギーの状況を把握した上で食事を提供した。毎月給食献立確認を家庭と行ったり、食事の提供方法を工夫したり、誤食を防ぐように務めた。また、誤食時の緊急対応の確認を行った。			
P44 (2)-18	<b>菜園活動の実施</b>  年長・年中児を対象に、農作物や食物に関心を持ち、食材の色・形などを知り、視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚の五感を養うことを目的として実施します。 <b>令和4年度の取組予定</b> 各年齢に合った興味を引き出す。食物に関心を持ち、食材の色・形・名前などを知り、視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚の五感を養うようにする。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき概ね実施中	・給食室と連携をとり、子ども達が採りたての野菜を楽しんで味わえるようにしていく。	・引き続き、子どもたちの身近な場所で年齢に応じた菜園活動を行い、農作物や食物に興味、関心を深める。	みやしろ 保育園 国納保育園
		<b>【上記の詳細】</b>			
		年長・年中児、それぞれ興味のある植物や季節の野菜等を取り入れ花壇で菜園活動をおこなう。野菜を収穫したり、食したりする中で、食への関心や意欲に繋がったようだ。苦手な野菜も口にす園児が見られた。			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P44 (2)-19	●簡単な調理実習による食育体験学習の実施	【取組状況】 計画を一部変更して実施中	・感染対策が変更となり、クッキングの幅も広がってくるかと考えられる。子ども達が興味を持てる内容、取り組みを見直す必要がある。	・年間食育計画に沿って、クッキング体験や3色食品群の食べ物、食事のマナー、食事の大切さについて学んでいく。	みやしろ 保育園 国納保育園
	年長児を対象に、3色食品群をクイズ形式で学び、野菜や果物の栄養を知り、簡単な調理実習を行います。	【上記の詳細】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一時クッキングを中止したが、年長児が収穫した野菜を給食で提供してもらうことで、旬の食材に興味、関心を持つことができた。また、紙芝居やクイズを通して、3色食品群について学ぶことができた。			
	令和4年度の取組予定 3色食品群をクイズ式で学んだり、食育カルタ・カードを利用して学ぶ。 園で収穫した野菜の調理や給食での提供を行う。				
P44 (2)-20	学校給食運営審議会、学校給食研究委員会による学校給食事業評価の実施	【取組状況】 計画に基づき実施中	今まで以上に安心安全な給食運営が求められているので、各校の環境に合わせた対策が求められます。	安全でおいしい給食を実施するため、学校給食運営審議会と学校給食研究委員会を引き続き開催します。	教育総務 担当
	学校給食運営審議会（年2回）、学校給食研究委員会（年6回）を開催し、児童生徒の喫食状況や献立に関する意見交換等を行います。	【上記の詳細】 安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う学校給食研究委員会を計6回開催しました。			
	令和4年度の取組予定 安全でおいしい給食を実施するため、学校給食運営審議会と学校給食研究委員会を引き続き開催します。	また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する学校給食運営審議会を1回開催しました。			
P44 (2)-21	学校給食への地場産野菜の活用	【取組状況】 計画に基づき実施中	地場産野菜は安定的な供給が難しい面があるが、継続した活用に努めていく予定です。	引き続き栄養教諭や給食センターとの連携を深めて地場産野菜の活用した給食提供を予定しています。	教育総務 担当
	学校給食に宮代産の野菜を利用するように努めます。	【上記の詳細】 学校給食では、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進し、令和4年度には米類約2.4トン、野菜等約12.4トン、合わせて35品目、約36.4トンを使用しました。			
	令和4年度の取組予定 引き続き栄養教諭や給食センターとの連携を深めて地場産野菜の活用した給食提供を予定しています。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P44 (2)-22	<b>アレルギー食への対応</b>			教員全体の共通理解をはかり、保護者との面談までに不明点などを明らかに出来るよう取り組んでいます。	引き続き取組予定です。新たなアレルギー対応が必要な場合には栄養教諭や養護教諭とも共通理解を図り、マニュアルの改訂等の取り組みを行います。
	各学校ごとにアレルギー対応会議を開催し、アレルギー食への対応を図ります。	計画に基づき実施中			
	<b>令和4年度の取組予定</b>	【上記の詳細】			
	引き続き取組予定です。新たなアレルギー対応が必要な場合には栄養教諭や養護教諭とも共通理解を図り、マニュアルの改訂等の取り組みを行います。		年に1回、保護者との面談後に栄養教諭と学校職員でアレルギー対象の児童・生徒について会議を開催しました。新入生はもちろん、アレルギー食が変更になった児童・生徒、転入者等もあわせて確認をしています。		
P44 (2)-23	<b>●栄養教諭による食育授業の実施</b>			学校の学習期間の変更等に合わせ柔軟な取り組みが求められます。	引き続き取組予定です。年度末には事業評価等で授業の評価を各学校の担当教員に依頼して食育授業の向上を図ります。
	宮代町立小・中学校において、望ましい食習慣を身につけることや、食に対する理解・関心を深めることを目的に、年1回学校及びクラスごとに実施します。	【取組状況】			
	<b>令和4年度の取組予定</b>	【上記の詳細】			
	引き続き取組予定です。年度末には事業評価等で授業の評価を各学校の担当教員に依頼して食育授業の向上を図ります。		各学年に合わせた指導を栄養教諭等が行い、食に関する知識を深め、正しい理解を促進しました。また、家庭科の献立作成の授業に参加するなど学校の学習状況に合わせた対応を行いました。		
P44 (2)-24	<b>食品ロスへの取り組みの推進（喫食率の把握、子ども環境会議の実施）</b>			給食の喫食率は学校の行事や、メニューによって変動することがあります。児童・生徒たちに馴染みのない郷土料理等のメニューは、味付けの工夫で食べやすくするなど日々改善に努めています。	引き続き取組予定です。なお、子ども環境会議での実施については予定していません。
	給食を残さず食べられるように、調理員による講話を聴く機会を設けるとともに、喫食率を把握し、子ども環境会議を実施（食品ロスを給食から考え、無駄をなくす）し、食品ロスを削減するよう努めます。	【取組状況】			
	<b>令和4年度の取組予定</b>	【上記の詳細】			
	引き続き取組予定です。なお、子ども環境会議での実施については予定していません。		学校給食研究会で栄養教諭より喫食率を報告。それを受けて喫食率を上げるための取り組みを各校発表、共有をしています。子ども環境会議での取り組みは令和4年度はありません。		

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P45 (2)-25	<b>介護予防教室での栄養講座の実施</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	月に2回となり、実施日が 増えたことによりリピー ターも多くなった。	感染予防に留意しつつ新規参加 者を増やし介護予防を地域に広 めていく。	高齢者支 援担当
	介護予防教室では、介護予防体操、口腔・栄養、認知症 予防等に関する講座を実施します。	<b>【上記の詳細】</b> 時期をずらして年6回募集することで、参加できる頻度を増やし た。栄養の講座では、受講生のなかにはたんぱく質が足りていな いことを実感される方もいた。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> 時期をずらして年6回募集することで、参加できる頻度 を月に2回程度にする。				
P45 (2)-26	<b>給食配食サービスの実施</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中		栄養バランスが摂れた食事を届 けるだけでなく、安否確認や見 守りを行うことで本人や家族の 安心、安全につながるサービス 提供を実施したい。	高齢者支 援担当
	自分で食事の準備ができない一人暮らし高齢者等の自宅 へ週1から3回、夕食を宅配し、食生活の改善や見守り を図ります。	<b>【上記の詳細】</b> 必要な人が配食サービスの利用ができるよう、窓口や問い合わせ を受けた際、聞き取りを行い、制度の趣旨の説明を行った。また ケアマネジャーなど介護従事者向けに連絡会で制度の説明を周知 した。週3回を限度に夕食を対面でお渡しし、見守りを行なった。 安否確認ができない場合は、緊急連絡先に連絡を入れるなど必要 な対応を行った。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> 真に必要な方へサービスの提供が継続できるよう窓口や ケアマネジャー等に制度の趣旨を周知していく。				
P45 (2)-27	<b>食と農の研究会の開催</b>	<b>【取組状況】</b> 未実施または事業終了		事業終了	農業振興 担当
	「食と農」をつなぐ幅広い取り組みを展開する活動の促 進を図ります。	<b>【上記の詳細】</b> 事業終了			
	<b>令和4年度の取組予定</b> 事業終了				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P45 (2)-28	<b>市民農園の普及・活用促進</b>	【取組状況】 計画を一部変更して実施中	・コロナ禍だと、高齢の生産者を講師として招くのが難しい	・町内の農家を講師に招いて勉強会を実施する。 ・新しい村の農業スタッフにアドバイスを聞ける機会を設ける。	農業振興 担当
	農業者を講師とした勉強会の開催等により、市民農園の普及及び活用の促進を図ります。	【上記の詳細】 市民農園アドバイザーを外部講師として招き、勉強会を実施した。			
	令和4年度の取組予定 ・町内の農家を講師に招いて勉強会を実施する。 ・新しい村の農業スタッフにアドバイスを聞ける機会を設ける。				
P45 (2)-29	<b>●地産地消活動の推進</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中		・引き続き、季節ごとの新鮮な農産物を活用した新たな新商品の考案や販売を行う。	農業振興 担当
	新しい村で予約販売をしている地場野菜を使用した弁当「村弁」の販売促進、新メニューの開発、地場野菜の生ジュースの販売等、地場野菜の消費拡大に努めます。	【上記の詳細】 森のカフェの新メニューとして、宮代産の野菜やフルーツを使った村育ち人参ケーキ、ベジ氷を販売した。			
	令和4年度の取組予定 ・引き続き、季節ごとの新鮮な農産物を活用した新たな新商品の考案や販売を行う。				
P45 (2)-30	<b>郷土料理・紫農産物のレシピ冊子の活用</b>	【取組状況】 計画に基づき概ね実施中	・残部がわずかとなっている。	・引き続き、レシピ冊子の配布を行う。	農業振興 担当
	メニュー10品（郷土料理、紫色の農産物）を掲載したレシピ集の活用に努めます。	【上記の詳細】 ・レシピの希望者に対し、レシピ冊子の配布を行った。			
	令和4年度の取組予定 ・引き続き、レシピ冊子の配布を行う。				



計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P45 (2)-31	<b>郷土料理などの料理教室の開催</b>	<b>【取組状況】</b> 計画を一部変更して実施中	・地場産野菜の出荷時期より早めに企画、撮影しないとPRが難しくなってしまう。	・動画のシリーズが定着し、視聴数も伸びていることから、引き続きレシピ配布と動画作成を行う。	農業振興 担当
	継続して郷土料理などの料理教室を開催します。	<b>【上記の詳細】</b> ・新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、対面での開催は見合わせ、レシピ配布と動画作成を行った。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> ・新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、対面での開催は見合わせ、レシピ配布と動画作成を行う。				
P45 (2)-32	<b>マルシェ、6次化推進イベントの開催</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中		引き続き、実行委員会と連携し、11月ごろに6次化PRイベントを実施する。	農業振興 担当 商工観光 担当
	事業者や創業の意思を持つ方々を集めた宮代マルシェ（定期市）の開催や6次化推進のための働きかけをします。	<b>【上記の詳細】</b> 2月に「ミヤシロまーぶるマルシェ」を、無印良品前の子どもの広場などで開催した。メイドインみやしろ登録事業者と3ピズ卒業生が来店し、メイドインみやしろ登録品などの販売や、ワークショップを実施した。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> ・引き続き、実行委員会と連携し、11月頃に6次化PRイベントを実施する。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、開催の有無は判断する。				
P45 (2)-33	<b>●野菜収穫体験の開催</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき概ね実施中		引き続き、野菜収穫体験を実施する。 6月、さつまいも掘りは12月、ブルーベリー摘み取りは7、8月に実施予定。	農業振興 担当 商工観光 担当
	市民を対象に芋ほりやブルーベリー摘み等の収穫体験を開催します。	<b>【上記の詳細】</b> 7、8月に開催を予定していたブルーベリー摘み取りは雹の影響で中止。さつまいも掘りは10、11月に開催した。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> ・引き続き、市民を対象にした摘み取り・収穫体験を開催する。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P45 (2)-34	<b>農のあるまちづくり講座（料理教室、ハーブ講座等）の開催</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき概ね実施中		引き続き料理教室やハーブ講座を開催する。 料理教室はイタリア料理講座以外にも、味噌や野菜を使った教室も開催予定。	農業振興 担当 商工観光 担当
	村の集会所にて地場野菜を活用した料理教室を実施します。	<b>【上記の詳細】</b> イタリア料理講座は5、7月に開催した。はじめにハーブの効能についての説明があり、そのハーブを使って料理をした。2回合わせて16人の参加があった。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> ・引き続き、地場野菜を活用した料理教室を開催する。 ・新しい村のハーブ園のハーブを使用したイタリアン講座を開催予定。				
P45 (2)-35	<b>特産品の普及</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中		引き続き季節ごとの新鮮な農産物を活用した新商品の考案や販売を行う。	農業振興 担当 商工観光 担当
	地場野菜や地場野菜を活用したメニュー、ほっつけ米、農産加工品の普及に努めます。	<b>【上記の詳細】</b> ・新しい村で栽培した特別栽培米を原料とした日本酒「新しい村」を新規に製造委託し、プライベートブランドとして販売した。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> ・引き続き季節ごとの新鮮な農産物を活用した新商品の考案や販売を行う。				
P45 (2)-36	<b>ほっつけ稲作体験の実施</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中		引き続き、田植え・稲刈り体験を開催し、体験を通して職の大切さを伝えていきたい。	農業振興 担当 商工観光 担当
	ほっつけを使って田植えや稲刈りを体験する講座を実施します。	<b>【上記の詳細】</b> 6月には田植え体験を、9月には稲刈り体験を開催した。町外・県外からの参加者も多かった。食卓に並ぶまでの流れを体験することで、日常的に食べているお米の大切さを学んだ。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> ・引き続き、田植え・稲刈り体験を開催し、体験を通して食の大切さを伝えていきたい。				

宮代町健康増進計画及び食育推進計画 事業実施状況調査票（令和4年度分）

（3）身体活動・運動 目標「自分に合った運動を続けよう」

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P47 (3)-1	<b>知っ得！けんこう講習の開催</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	参加者の増加や自宅での取組を強化するため、指導テーマや配布資料を見直ししていく必要がある。	引き続き年2回の実施とし、運動習慣形成を促していく。また、指導テーマを開催時期と関連をもたせることにより、より多くの方の参加を促す。さらに、配布資料は自宅での取組を促すツールとして引き続き活用していく。	健康増進 担当
	成人を対象に、運動の技術を習得する機会を設けます。	【上記の詳細】 運動習慣の形成を促すため年2回開催し、29名の参加があった。感染症対策として、1回の定員数は15名とした。継続した講習会への参加を促すために、年間スケジュールを記載した周知チラシを作成し、配布した。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> ・年2回実施を継続する。 ・感染症対策を引き続き講じつつ、定員数を15名に増やす。 ・周知強化のため、ポスター、チラシを改良する。				
P47 (3)-2	<b>貯骨（ちょこっ）とエクサ！の開催</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	引き続き、教室を通じた運動習慣形成に努める。若い世代からの運動習慣形成を促すため、子育て世代も参加しやすいような事業運営の見直しが必要である。	定員は20名に拡大する。また、一時保育を導入することで40代の参加を増やし、運動習慣の形成及び骨粗しょう症予防の支援を行う。	健康増進 担当
	骨粗しょう症検診を受けた方に、骨粗しょう症予防に向けた運動習慣及び技術を習得する機会を設けます。	【上記の詳細】 骨粗しょう症検診のフォローアップ教室として、5日間のプログラムを2コース実施し、延べ95名が参加した。感染症対策として、各コース定員を15名とした。指導内容・配布資料等により、自主的な骨粗しょう症予防の運動の取組を促した。参加者からは、「次回も参加したい」「講師の指導が丁寧で良かった」等好評であった。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> ・自主的な運動を促す機会として、引き続き実施していく。 ・40代、50代の参加者増に向けて、検診申込時や検診時の周知に引き続き努める。				
P47 (3)-3	<b>●ウォーキング教室の開催</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	生活習慣の改善には早期の介入が重要であり、若い世代の参加が得られやすいし、正しい実施方法を検討し、身体活動量の増加を促す必要がある。	様々な世代の参加が得られるよう休日開催や会場を検討し、正しい歩き方や無理なく続けられるウォーキングを促す実践的な教室を開催する。	健康増進 担当
	町内のウォーキングコース等を活用し、正しい歩き方や無理なく続けられるウォーキング等の講話と実習を行います。	【上記の詳細】 10月にぐるる宮代にて小学生の親子を対象に教室を実施した。休日開催により若い世代の参加を促し、9組の参加が得られた。また、11月には東武動物公園を会場に47名（うち64歳未満は8名）が参加した。いずれの教室も、講義や実習を通じて正しい歩き方のポイントや簡単なトレーニングを行い、日頃の取組に活かせる内容とした。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> 若い世代の参加が得られるよう実施方法を見直し、正しい歩き方や無理なく続けられるウォーキングを促す実践的な教室を開催する。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P47 (3)-4	●運動教室の開催	【取組状況】 計画に基づき実施中	多くの方々の参加が得られる事業運営が求められる。	引き続き、若い世代に対して運動の機会や自らの健康づくりを振り返るきっかけづくりとして開催する(9月～10月)。	健康増進 担当
	若い世代を対象とした運動教室を開催します。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	対象者を20歳～49歳の若い世代とし、子育て中の方も参加しやすいよう託児付きで実施した。また、開催時期を昨年度の冬季から9月～10月に変更し、延べ61名が参加した。広報8月号やポスターの掲示、幼児の保護者が来所する健康相談や健診等の所内事業にてチラシを配布し参加を募った。			
P47 (3)-5	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の啓発	【取組状況】 計画に基づき実施中	コロナ禍で外出を控える人も多く、ロコモティブシンドロームの啓発は引き続き必要である。	引き続き、健康長寿サポーター養成講習や各種運動教室にて、ロコモティブシンドロームの啓発に努める。	健康増進 担当
	歩行機能を維持するため、健康教育でロコモティブシンドロームの啓発を行います。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	・健康長寿サポーター養成講習においてロコモティブシンドロームの普及啓発に努めた。2回の講習で計23人に実施した。 ・各種運動教室にて、歩行機能を維持するため筋力アップの必要性など運動指導を行った。			
P47 (3)-6	運動と健康に関する情報提供や意識啓発	【取組状況】 計画に基づき実施中	様々な世代が取り組みやすい運動の取組支援や情報提供が必要である。	「お家でFit! 運動オンデマンドレッスン」では、手軽に取り組むことのできる短編動画を導入し、動画本数を充実させることで、多くの町民に運動による健康づくりをすすめる。	健康増進 担当
	広報、ホームページ、パンフレット等を用いて、運動と健康に関する情報提供や意識の啓発を行います。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	10月に集団健診受診者に対し筋力トレーニング等を図示した資料を配布し、在宅での取組を促した。 第5次総合計画前期実行計画に基づき、7月～10月に「お家でFit! 運動オンデマンドレッスン」を実施した。157名(うち20代～40代は109名)が参加し、在宅で運動の取組を促した。また、秋に町内6か所を巡る「健康ワードラリー」を開催したところ、471名(うち20代～40代は118名)から応募を得た。応募は電子申請を導入し、気軽に参加ができるよう工夫した。			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P48 (3)-7	●特定保健指導「みやしろ健康会」での運動指導	【取組状況】 計画に基づき実施中	運動の記録票や声掛けを通じて自宅での運動を呼び掛けているが、定着しない参加者が多い。	引運動の記録票や声掛けを通じて、自宅での運動を呼び掛けていくことに加え、個別面談や体重シートの確認等により運動習慣の形成を促していく。実施プログラムは、適宜参加者の取組の様子や体調等に合わせた内容で実施する。	健康増進 担当 国保・後 期担当
	特定健診を受診し、メタボリックシンドローム予備群または基準該当となった方に、生活習慣の改善を促します。	【上記の詳細】 特定保健指導参加者の内、希望者の22名に対し、全19回の運動実技の教室を実施した。参加を希望したものの、出席がない場合や欠席が続く場合には、電話勧奨により参加を促した。画一的なプログラムに限らず、腰痛予防や骨盤ケア等参加者からの声を反映したプログラム内容を実施することで、自宅での取組を強化した。			
	令和4年度の取組予定 ・参加につながらない場合は、個別面談や電話がけにより参加を促す。 ・引き続き配布資料等を用いて、自宅での運動習慣形成につながるプログラムとする。				
P48 (3)-8	血糖コントロール教室での運動指導	【取組状況】 計画に基づき実施中	自宅で取り組める運動やウォーキング法など、教室が終了しても自主的に継続できるようなプログラムが求められる。	プログラムの内容は、再度検討し運動習慣の形成を促すよう努める。	健康増進 担当 国保・後 期担当
	健康診断等で糖代謝異常の方に、糖尿病の一次予防・重症化予防に向けた運動習慣の形成を促します。	【上記の詳細】 3日間コースの内、2日目に1回実施し、15名参加した。生活アクティブ体操をテーマとし、歯磨きをしながら、テレビを見ながらといった日常生活の中で取り組める動きを学び、運動習慣の形成を促した。			
	令和4年度の取組予定 ・引き続き自宅でも取り組みやすい、運動プログラムとする。 ・教室開催の回数を再度検討する。				
P48 (3)-9	●みやしろ健康マイレージ事業における運動習慣の定着促進	【取組状況】 計画に基づき実施中	健康マイレージ事業は新たな健康増進事業へと移行する。既参加者がスムーズに移行できるよう、支援が必要。	健康マイレージから移行する新たな健康増進事業について、県と連携し、周知や移行支援を確実に行う。	健康増進 担当 国保・後 期担当
	18歳以上の町民に、運動習慣を定着させ、身体活動量の増加を促します。	【上記の詳細】 健康マイレージの参加者拡大に向け、秋に保育園・小学校・中学校を通じて保護者にチラシを配布した。また、12月には約1万世帯に配布し、広く周知した。1月に新規アプリ登録キャンペーンを実施し、広報やLINE配信を行った。登録者は前年度から679名増え、4,106名となった。 「健脚チャレンジ」では、一時保育を設け子育て世代の参加を得た。参加者は昨年度の24名から37名に増え、歩行速度等の体力測定項目が優位に改善した。			
	令和4年度の取組予定 ・参加者拡大に向け、広報やホームページ、チラシの配布に加え、SNSを活用し、周知に努める。 ・「健脚チャレンジ」への参加者拡大に向け、一時保育を設けるなど参加しやすい事業運営に努める。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P48 (3)-10	<b>介護予防教室の開催</b>	【取組状況】	教室の開催は増えてきたが新規参加者が少なくリピーターが多い。	国保データベースを利用した個別案内や最終回での申し込み方法周知を検討し、新規参加者を増やし、新規参加者の継続を目指す。	高齢者支援担当
		計画に基づき実施中			
	【上記の詳細】				
	新型コロナウイルス感染症に配慮して実施した。1コースあたり5回。5会場延べ18コース開催した。				
	令和4年度の取組予定	時期をずらして年6回募集することで、参加できる頻度を月に2回程度にする。			
P48 (3)-11	<b>地域交流サロンでの体操の機会づくり支援</b>	【取組状況】	大人数であること等から、再開を躊躇う代表者がいる。外での開催を勧めるなど、声掛けをしていきたい。	新型コロナウイルスがほぼ収束したので、積極的にサロンを訪問したい。また、休止中のサロンにも声掛けを行ってきたい。	高齢者支援担当
		計画に基づき概ね実施中			
	【上記の詳細】				
	2,3か月に一度、サロン代表者に連絡をとり開催状況を取りまとめ、役に立ちそうなチラシ等と一緒に郵送した。新型コロナウイルスも落ち着き始めたので、再開するサロンが増えてきた。				
	令和4年度の取組予定	継続してすべてのサロンに定期的に連絡をしていきたい。また、長期にわたり中止しているサロンに対し、感染対策の相談などに乗り少しでも不安を払拭できるようにしたい。			
P48 (3)-12	<b>出前講座の実施</b>	【取組状況】	感染状況を勘案しつつ、出前講座が受講しやすい環境を検討していく。	引き続きフレイル対策のミニ講座(20分～30分)を実施し介護予防(体操・口腔・栄養)について学ぶ機会を提供していく。	高齢者支援担当
		計画に基づき実施中			
	【上記の詳細】				
	フレイル対策のミニ講座16回実施。				
	令和4年度の取組予定	フレイル対策のミニ講座(20分～30分)の実施			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P48 (3)-13	<b>スポーツ・レクリエーション大会の開催</b> 高齢者向けのスポーツやレクリエーションの大会を開催します。 令和4年度の取組予定 5月に予定していた町民グラウンドゴルフ大会及び町民親睦輪投げ大会は延期となったが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、4年度中の実施について検討する。	【取組状況】 未実施または事業終了	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止はやむを得なかったが、感染状況を勘案しつつ、今後に向けた事業の実施方法について検討することが必要。	7月に町民親睦輪投げ大会を実施予定。グラウンドゴルフ大会については検討中。コロナ後の高齢者にとっての生きがいや健康づくり及び交流の場となるスポーツ及びレクリエーションの開催方法を検討していく。	高齢者支援担当
		【上記の詳細】 町民グラウンドゴルフ大会及び町民親睦輪投げ大会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。			
		令和4年度の取組予定			
P48 (3)-14	<b>プラザサポーターの養成・活動促進</b> 地域での介護予防活動において、講師として介護予防の指導ができる人材を育成します。 令和4年度の取組予定 地区の集会所で養成講座を実施する。	【取組状況】 計画に基づき実施中	養成講座に5名受講していたが最終的に修了者が1名となってしまった。講座へ参加しやすい方法を検討する。	受講生が参加しやすいよう引き続き地区の集会所で養成講座を実施していき受講生が地域で活動を開始できるよう支援していく。	高齢者支援担当
		【上記の詳細】 5月～10月にかけてプラザサポーター養成講座を全12回のコースで実施し、1名が修了した。			
		令和4年度の取組予定			
P48 (3)-15	<b>みやしろ大学におけるウォーキングの実施</b> 受講者の交流や健康増進を目的としたウォーキングを、年間講義の一つとして実施します。 令和4年度の取組予定 9月から実施予定。 ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、企画会議などの事前準備が困難なことからウォーキングについては中止となった。	【取組状況】 未実施または事業終了	多数の高齢者が集うという事業の性質上、より入念な新型コロナウイルス感染症対策が求められる。	ウォーキングについては休止。ただし、みやしろ大学内のクラブ活動「歩け歩けクラブ」の活動は再開。	生涯学習・スポーツ振興担当
		【上記の詳細】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からすべての講座を中止した。			
		令和4年度の取組予定			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P48 (3)-16	<b>公民館の利用促進</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	平日の日中に利用する団体が多いため、同時時間帯を希望する団体の重複があった場合、団体間の利用調整が難しい。	引き続き、多くの団体が活動できるよう公民館の利用調整を図っていく。	生涯学習・スポーツ振興担当
	卓球、社交ダンス、ヨガ、踊り等による健康増進活動を促進します。	【上記の詳細】 町内公民館（和戸公民館、百間公民館、川端公民館）において、卓球、社交ダンス、ヨガ、踊り等の団体が活動し、団体の交流を深めるとともに、健康増進につながった。			
	令和4年度の取組予定 引き続き、多くの団体が活動できるよう公民館の利用調整を図っていく。				
P49 (3)-17	<b>「あそびと運動 トライ」「あそびと運動 チャレンジ」の開催</b>	【取組状況】 計画に基づき概ね実施中	参加者が減少し、定員に満たない回があったため、ニーズを捉えた講座を企画していく。	秋以降の講座開始を見据え、企画のリニューアルを検討する。	生涯学習・スポーツ振興担当
	・町内の小学1・2年生を対象とし、体を動かすことの楽しさを知ってもらう機会を設けます。	【上記の詳細】 新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、「あそびと運動トライ」を秋季に実施。コロナ禍における児童の運動機会をつくり、健康増進につながった。			
	・町内の小学3・4年生を対象とし、様々なスポーツを体験することで自分に合ったスポーツに出会う機会を設けます。	令和4年度の取組予定 ・新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、小学1～4年を対象とした各教室を実施し、様々な運動やスポーツをする機会を設ける。			
P49 (3)-18	<b>スポーツ少年団活動の促進</b>	【取組状況】 未実施または事業終了	・単位段数数及び団員数が減少している。 ・体験会の実施や広報の取組等が必要である。	・イベント開催等により単位段数や団員同士の親睦を深めるとともに、各種体験会を通して新規入団者の確保を図る。 ・スポーツ少年団だよりや学校へのチラシ配布を活用し、活動内容の周知や団員募集を実施する。	生涯学習・スポーツ振興担当
	スポーツ少年団を対象として、心身ともに健やかな人間形成を促すことを目的として実施します。	【上記の詳細】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から「少年少女スポーツフェスティバル」は中止。「ロードレース大会」は、雨天の影響により中止した。			
	令和4年度の取組予定 ・イベント開催等により個別団体や団員同士の親睦を深めるとともに、各種体験会を通して新規入団者の確保を図る。 ・スポーツ少年団だよりや学校へのチラシ配布を活用し、活動内容の周知や団員募集を実施する。	・スポーツ少年団だよりや学校へのチラシ配布を活用し、活動内容の周知や団員募集を実施した。			



計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P49 (3)-19	<b>町民団体等によるウォーキング活動の促進</b>	【取組状況】 未実施または事業終了	今後の事業継続等に向けた協議が必要。	今後の事業継続等に向けた協議を行う。	生涯学 習・ス ポーツ振 興担当
	健康づくり支援のため、町民を対象として、ファミリーハイキングなどを実施します。	【上記の詳細】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からすべての講座を中止した。			
	令和4年度の取組予定 町レクリエーション協会と連携し、ハイキングによる町民の健康づくりの支援を行う。 ・ハイキング実施前には、十分なコースの下見を行い、参加者の安心、安全を確保する。				
P49 (3)-20	<b>●町民体育祭、町民スポーツ大会、宮代町綱引き大会の開催</b>	【取組状況】 計画を一部変更して実施中	・経年的に各大会の参加者人数が減少している。 ・大会運営役員の高齢化が進み、後継者の育成が必要である。	年齢や障がいの有無にかかわらず、町民の健康増進と体力の向上を図る機会の創出を目指したイベントの実施。	生涯学 習・ス ポーツ振 興担当
	町民の健康づくりと競技力の向上のため、町内在住・在学・在勤者に対するイベントを企画します。	【上記の詳細】 町民体育祭は、町民スポーツフェスティバルに開催形式を変更して実施。町民スポーツ大会は、各競技団体にて大会運営を実施。綱引大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。			
	令和4年度の取組予定 年齢や障がいの有無にかかわらず、町民の健康増進と体力の向上を図る機会の創出を目指し、体育祭の見直しを実施する。				
P49 (3)-21	<b>スポーツフィールドの開催</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	参加者が減少し、定員に満たない回があったため、ニーズを捉えた講座を企画していく。	新規種目を導入するなど、参加者を増やす試みを行う。	生涯学 習・ス ポーツ振 興担当
	小学4年生以上（小学生は保護者同伴なら参加可）を対象として、日頃の運動不足を解消し、スポーツに親しむ機会を提供します。	【上記の詳細】 月1回「さいかつぼーる体験」を実施。スポーツに親しむ機会を提供した。			
	令和4年度の取組予定 ・引き続き、「さいかつぼーる体験」を年間を通して実施し、広報媒体や参加者の口コミ等により、新規体験者を増やす。 ・参加者に大会情報等を提供し、体験会から自主的な活動への展開を促す。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P49 (3)-22	<b>スポーツ推進委員活動の促進</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	・既存事業を整理し、効果的なイベント実施ができるように、会場確保等の支援を行っていく。	・引き続き、イベント情報の広報とスポーツ用具の貸出支援を行う。 ・イベントの定期的開催のため会場を確保する。	生涯学習・スポーツ振興担当
	町民の健康づくりや体力づくりがサポートできるように、スポーツ推進委員が各種研修等に積極的に参加できるような支援を行います。	【上記の詳細】 町民スポーツフェスティバルや、スポーツフィールドの開催など、町内イベントへ積極的に参加出来るように支援を行った。			
	令和4年度の取組予定 ・引き続き、イベント情報の広報とスポーツ用具の貸出支援を行う。 ・イベントの定期的開催のため会場を確保する。				
P49 (3)-23	<b>ニュースポーツ実施団体の活動促進</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	・各教室や体験会が定期的開催できる会場確保への支援が重要である。	・引き続き、イベント情報の広報とスポーツ用具の貸出支援を行う。 ・イベントの定期的開催のため会場を確保する。	生涯学習・スポーツ振興担当
	ニュースポーツを普及させるため、ニュースポーツ実施団体、総合型スポーツクラブを支援します。	【上記の詳細】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からすべての事業を中止した。			
	令和4年度の取組予定 ・引き続き、イベント情報の広報とスポーツ用具の貸出支援を行う。 ・イベントの定期的開催のため会場を確保する。				
P49 (3)-24	<b>小学校・中学校体育施設の利用促進</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	・開放施設や時間帯が限られているため、学校によっては、既存団体で利用枠が一杯になり、新規団体の参加がしにくい。	・引き続き、小・中学校体育施設を開放し、町内のスポーツ団地に活動の場を提供する。 ・新規登録を希望する団体に対しては、開放の概要を分かりやすく説明し、各学校の空き時間帯等を有効活用できるように促す。	生涯学習・スポーツ振興担当
	町内で活動するスポーツ団体の支援や町民の健康づくりのため、小学校・中学校体育施設の利用を促進します。	【上記の詳細】 ・学校開放調整会議を行い、町内のスポーツ団体へ活動の場を提供した。			
	令和4年度の取組予定 ・引き続き、小・中学校体育施設を開放し、町内のスポーツ団地に活動の場を提供する。 ・新規登録を希望する団体に対しては、開放の概要を分かりやすく説明し、各学校の空き時間帯等を有効活用できるように促す。	・随時、問い合わせのあった団体へ説明を行い、新規登録を受け付けた。			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P49 (3)-25	●総合運動公園ぐるる宮代、はらっパーク宮代の活用	【取組状況】 計画に基づき実施中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者向け事業の充実が必要である。</li> <li>・施設の経年劣化により、計画的な修繕が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、教室や大会を開始し、町民の健康維持・増進を図る。</li> <li>・障がいの有無に関わらず誰もがスポーツを楽しめる環境づくりに取り組む。</li> <li>・緊急度や優先度により施設修繕を実施し、環境整備に取り組む。</li> </ul>	生涯学習・スポーツ振興担当
	教室や大会を開催し、町民の健康づくりに資するための働きかけを行います。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	新型コロナウイルス感染拡大対策を講じて、市民がスポーツ活動をしやすい環境を整え提供した。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、教室や大会を開始し、町民の健康維持・増進を図る。</li> <li>・障がいの有無に関わらず誰もがスポーツを楽しめる環境づくりに取り組む。</li> <li>・緊急度や優先度により施設修繕を実施し、環境整備に取り組む。</li> </ul>				
P49 (3)-25	●総合運動公園ぐるる宮代、はらっパーク宮代の活用	【取組状況】 計画に基づき実施中	特になし	引続き様々な大会等事業開催に向け、指定管理者と調整しながら令和5年度の取組については検討していく。	都市計画担当
	教室や大会を開催し、町民の健康づくりに資するための働きかけを行います。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	指定管理者の自主事業として、グラウンドゴルフ大会、ランニングバイク大会、走り方教室など各種事業を開催した。参加者からは高評価を得、各種事業を開催することにより日頃から練習や運動を継続して行うようになり、体力向上・健康づくりの推進につながっている。			
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策等安心・安全な大会等開催に向けて指定管理者と調整しながら令和4年度の取組については検討していく。				

宮代町健康増進計画及び食育推進計画 事業実施状況調査票（令和4年度分）

（4）休養・こころの健康 目標「朝さわやかに目覚めよう」

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P51 (4)-1	子育て世代包括支援センター（保健センター）による相談の実施	【取組状況】 計画に基づき実施中	子育て世代包括支援センターの子育て相談について、周知を充実させることが必要。	母子手帳交付時や転入時の妊婦健診受診券の差し替えの際に面接を行い、ハイリスク妊婦についてはケース検討会議で対応について検討し支援を行う。	健康増進 担当
	妊娠期から子育て期までの母子保健や育児に関する様々な悩み等の相談を専門職が行い、健やかな生活を送れるように支援します。	【上記の詳細】 妊娠届出時や転入の妊婦等との面接を実施した。ハイリスク妊婦については、ケース検討会議で対応を検討し支援を行った。3月からは出産子育て給付金事業が開始となり、伴走型支援として子育てガイドを使用して妊娠出産の見通しをつけながら細やかな面接を実施した。来所者数306人。			
	令和4年度の取組予定 地区担当保健師が妊婦と面接を行い、ハイリスク妊婦についてはケース検討会議で対応について検討し、出産後も適切な継続支援を行っていく。				
P51 (4)-2	●乳児家庭全戸訪問の実施	【取組状況】 計画に基づき実施中	赤ちゃん訪問を実施し、適切な支援を行うことが重要。	引き続き4か月までの赤ちゃんへ訪問を行い、産後うつのある人には継続的に支援を行い適切な支援を行う。	健康増進 担当
	産後うつの予防と早期発見に努め適切な支援を行います。	【上記の詳細】 赤ちゃん訪問190人に実施した。また、母の希望で来所での面接1人に実施した。養育支援連絡票のあった人やハイリスクのケースについてはケース検討会議で支援について検討し対応し必要に応じて医療機関等と連絡調整を行った。			
	令和4年度の取組予定 産後うつの疑いのある人には、地区担当保健師による継続支援のほか、家族や医療機関と連絡調整を図って母子を見守っていく。				
P51 (4)-3	乳幼児健康診査時の相談の実施	【取組状況】 計画に基づき実施中	カンファレンスで経過観察が必要となった親子に対しては、訪問や健康相談、面談でフォローを行っている。健診時間内では対応の難しい複雑な相談がある。	複雑な相談に対しては、改めて臨床心理士の面接日を案内し、個別相談につなげていく。	健康増進 担当
	4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児健診時に、発育栄養状態、精神・運動機能の発達状態や育児状況に応じた相談を行い、必要な方には継続的な支援を行います。	【上記の詳細】 各乳幼児健診を年12回実施。保健師、管理栄養士、臨床心理士等の専門職が、子どもの発育・発達、育児状況に応じた相談や支援等を実施し、育児の孤立化防止や子育ての悩みを軽減することができた。また、健診日に対応が難しい場合は、個別の心理相談や言語相談を提案し、必要に応じて継続的に支援した。			
	令和4年度の取組予定 複雑な相談に対しては、改めて臨床心理士の面接日を案内し、個別相談につなげていく。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P51 (4)-4	●祖父母教室の開催  子育て中の親のこころの健康を保つため、祖父母がよき支援者となれるよう正しい育児情報を提供します。 <b>令和4年度の取組予定</b> 引き続き、年1回はじめての孫育て教室を実施する。実施前から妊娠届出時、広報、ホームページで周知を行う。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	希望者が少数であり状況もそれぞれ違うため、支援方法の見直しが必要。	祖父母の相談があった場合は個別で対応し、よき支援者となるよう育児情報の提供を行う。	健康増進 担当
		<b>【上記の詳細】</b> 妊娠届時、広報、ホームページ、LINEにて周知を行い、10月17日に開催し2組の参加があった。父親の育児休業の取得や育児協力者が増えているためか、参加希望者は少なかった。赤ちゃん訪問時など祖父母が同席時の際にも育児情報の提供を行った。			
P52 (4)-5	保健師の健康相談  こころや身体の健康に関する相談を行います。 <b>令和4年度の取組予定</b> 引き続き様々な相談に対し必要に応じて関係機関と連携し対応していく。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	様々な悩みや相談があり、個々に応じて関係機関との情報共有や連携を行いながら対応していく必要がある。	引き続き様々な相談に対し必要に応じて関係機関と連携し対応していく。	健康増進 担当
		<b>【上記の詳細】</b> 町民からのこころや身体の健康に関する相談を地区担当保健師が対応し、必要に応じて福祉課や保健所等の関係機関と連携して対応した。			
P52 (4)-6	臨床心理士の心理相談  発達の問題や子どもとの関わり方など子育て期の保護者の悩み相談を行います。 <b>令和4年度の取組予定</b> 地区担当保健師が丁寧に対応し、臨床心理士の相談にスムーズにつなげていく。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	子育て期の悩みによりそい育児不安への対応をするため心理相談を継続していく必要がある。	引き続き子どもへの関わり方などの悩みに対し地区担当保健師が対応し、臨床心理士の心理相談へつなげる。	健康増進 担当
		<b>【上記の詳細】</b> 心理相談にて子どもへの関わり方などの悩みに対応し、母の育児不安の軽減に努めた。 心理相談延べ104人			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P52 (4)-7	●ゲートキーパー養成講習の開催	【取組状況】 計画に基づき実施中	ゲートキーパーについて周知を図り、地域の中で困っている人、悩みを抱えている人等に意識的に関わってもらい、地域全体の見守り支援ができるように定期的に継続開催していく必要がある。	一般町民と新人職員対象に各1回実施する。	健康増進 担当
	自殺予防のためのゲートキーパーの啓発及び養成をします。	【上記の詳細】 8月に介護従事者、2月に町民を対象にゲートキーパー養成講座（臨床心理士による講話）を実施した。介護従事者の参加者は17人、町民の参加者は20人であった。身近な人がどのような問題を抱え、どのような声かけがよいかなど、ゲートキーパーとしての具体的な支援方法について講話を行った。			
	令和4年度の取組予定 一般町民を対象に年1回、また、町内事業所の介護従事者を対象に年1回実施する。				
P52 (4)-8	●こころの健康に関する講演会の実施	【取組状況】 計画に基づき実施中	テーマや講師を変える等、様々な視点からメンタルヘルスを啓発することが重要である。	次回開催に向けテーマや講師等、企画を検討していく。	健康増進 担当
	町民を対象に、メンタルヘルスに関する講演会を開催します。	【上記の詳細】 町民を対象にこころの健康講座「ポジティブ認知行動療法～自分を励ます10の方法～」(臨床心理士による講話)を10月に開催した。ゲートキーパーの役割とともに、自分自身のこころのケアについて意識啓発を行った。参加人数22人。			
	令和4年度の取組予定 こころの健康に関する講演会を年に1回開催する。				
P52 (4)-9	●こころの健康に関する情報提供や意識啓発	【取組状況】 計画に基づき実施中	日々のストレスによる心の健康への影響が心配される中、こころや体の不調を感じたら早めに対処できるよう、様々な機会に情報提供を行い、意識啓発を継続していく必要がある。	集団健(検)診や各種健康講座参加者に対し、こころの健康に関する情報提供や意識啓発を行う。	健康増進 担当
	メンタルヘルスについての広報・周知を行います。	【上記の詳細】 ・役場職員間の情報共有や意識啓発の為、国や県からの自殺対策情報やこころの健康に関する情報提供を行った。 ・保健センターの「こころの健康コーナー」にこころの健康に関する情報を集約し情報提供を行った。 ・集団健(検)診の際にうつ病対策のDVDを写し意識啓発を行った。また、各種健康教室参加者に自殺予防啓発品(マスク)を配布し相談窓口の周知を行った。			
	令和4年度の取組予定 集団健(検)診や各種健康講座参加者に対し、こころの健康に関する情報提供や意識啓発を行う。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P52 (4)-10	<b>幸手保健所との連携による相談、ケース検討会の実施</b> 専門職によるケース検討会を開催し、適切な個別支援を行います。 令和4年度の取組予定 隔月に精神ケース検討会を開催をする。また、随時、必要に応じ幸手保健所や関係機関と連携して支援する。	【取組状況】	関係機関や関係者で情報共有したり、適切な支援方法等を検討し継続実施が求められる。	隔月に精神ケース検討会を開催をする。また、随時、必要に応じ幸手保健所や関係機関と連携して支援する。	健康増進 担当
		計画に基づき実施中			
		【上記の詳細】			
		隔月に精神ケース検討会を実施した。			
		実施回数：年6回 事例検討実人数 27人 延べ人数 52人			
	また、困難事例については関係機関等（保健所、杉戸警察、福祉課、姫宮駐在所、生活保護CW、保健センター）で検討を行った。				
	<b>幸手保健所との連携による相談、ケース検討会の実施</b> 専門職によるケース検討会を開催し、適切な個別支援を行います。 令和4年度の取組予定 障がいの早期発見、対応に向け、支援機関や医療などにつなげる対応を適宜実施していく。	【取組状況】	特になし	障がいの早期発見、対応に向け、支援機関や医療などにつなげる対応を適宜実施していく。	福祉支援 担当
		計画に基づき実施中			
		【上記の詳細】			
		検討会議を定期的で開催し、対象者に適切に対応できるよう支援方策を検討した。具合が悪く、医療が必要な場合は、保健所と連携し受診の機会を確保した。また、服薬管理や家事援助などの提供の必要がある方に対しては、障害福祉サービス等のサービスを提供した。			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P52 (4)-11	<p>●<b>こころの健康に関する相談窓口についての連絡先等の情報提供</b></p> <p>メンタルヘルスに関するパンフレット等を窓口やトイレ等に配置し、相談窓口についての情報提供を行います。</p> <p>令和4年度の取組予定</p> <p>引き続き、心の相談窓口の周知や利用促進に努める。</p>	<p>【取組状況】</p> <p>計画に基づき実施中</p> <p>【上記の詳細】</p> <p>所内ロビーに設けた「こころの健康コーナー」に、メンタルヘルスに関する情報を集約し情報提供を行った。</p> <p>また、保健センターや役場、進修館、図書館等にもパンフレット等を配置し、情報提供を行った。</p>	<p>様々なストレスによる、こころや体の不調を感じている方が増加していると考えられるため、相談窓口についての情報提供や周知に継続して努める必要がある。</p>	<p>引き続き、心の相談窓口の周知や利用促進に努める。</p>	健康増進 担当
	<p>●<b>こころの健康に関する相談窓口についての連絡先等の情報提供</b></p> <p>メンタルヘルスに関するパンフレット等を窓口やトイレ等に配置し、相談窓口についての情報提供を行います。</p> <p>令和4年度の取組予定</p> <p>障害者手帳所持者に対し、状況に応じた相談の連絡先の情報提供を行う。</p>	<p>【取組状況】</p> <p>計画に基づき実施中</p> <p>【上記の詳細】</p> <p>障害者手帳所持者に対し、状況に応じた相談の連絡先を情報提供した。</p>	<p>特になし</p>	<p>障害者手帳所持者に対し、状況に応じた相談の連絡先の情報提供を行う。</p>	福祉支援 担当
P52 (4)-12	<p>●<b>子育て世代包括支援センター（子育てひろば）による相談の実施</b></p> <p>子育て中の母親を対象に、子育ての不安や悩みに対する相談・援助を実施し、子育て中の孤独感や不安感等の負担軽減を図ります。</p> <p>令和4年度の取組予定</p> <p>子育て支援センター利用者の声を聴き、不安や悩みに寄り添い相談に応じる。子育て相談や地域子育てサロンの周知を図り、不安、負担、悩みを軽減できる場を増やしていく。</p>	<p>【取組状況】</p> <p>計画に基づき実施中</p> <p>【上記の詳細】</p> <p>子育てひろばにおいて、子育て相談員や保育士が、子育て中の保護者を対象とした子育ての不安や悩みに対する相談・援助を実施。地域子育てサロンについて周知し参加を呼びかけた。</p>	<p>子育て相談や地域子育てサロンの周知方法について検討を行い、新規利用者にも子育てに対する不安や悩みを軽減できる場を提供していく。</p>	<p>子育て相談や地域子育てサロンの周知を図り、不安、負担、悩みを軽減できる場を増やしていく。</p>	こども笑 顔担当



計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P52 (4)-13	<p><b>●さわやか相談室による相談活動の実施</b></p> <p>宮代町立小・中学校在席の小・中学生・保護者を対象に、悩みや不安、学校生活に支障をきたしたとき、また、日常の些細に思われること等の話ができ、児童・生徒が安定した精神状態と気力の充実を図れるように、相談、支援します。</p>	<p><b>【取組状況】</b></p> <p>計画に基づき実施中</p>	<p>・相談内容や利用率から、悩みや不安が大きくなった段階での利用は多く、解消までに時間を要したり、利用者の固定化につながったりする面がある。</p> <p>・悩みや不安の初期段階で解消できるような取組を、学校として工夫していく必要がある。</p>	<p>・引き続き町内小・中学生及び保護者を対象に相談活動を行い、児童・生徒が安定した精神状態と気力の充実を図れるように支援を行う。</p> <p>・校内の各種便り等でさわやか相談室について周知を行ったり、担任との情報交換をより密に行ったりする。</p> <p>・例えば面談ウィークを設けるなど生徒が気軽に相談しやすいような取組について検討する。</p>	学校教育 担当
	<p><b>令和4年度の取組予定</b></p> <p>・引き続き町内小・中学生及び保護者を対象に相談活動を行い、児童・生徒が安定した精神状態と気力の充実を図れるように支援を行う。</p> <p>・校内の各種便り等でさわやか相談室について周知を行ったり、担任との情報交換をより密に行ったりする。</p> <p>・例えば面談ウィークを設けるなど生徒が気軽に相談しやすいような取組について検討する。</p>	<p><b>【上記の詳細】</b></p> <p>相談内容は、友人関係、性格・行動、不登校の内容が多くの割合を占めている。さわやか相談室では、利用する生徒や保護者へのアドバイスをすることよりも、しっかりと話を聞き、気持ちを受け止めながら、心の安定が図られるように面談を行っている。また、いじめについては、学校における「いじめの定義」が定着し、積極的に認知することで早期発見・早期対応にもつながっている。相談員がS Cや管理職、担任、養護教諭等と連携することでいじめの解消に大きくつながっている。</p>			
P52 (4)-14	<p><b>個別相談による悩みの把握</b></p> <p>就学予定の児童とその保護者に対し、子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を保障するため、本人・保護者に十分な情報を提供し、就学に向け相談します。</p>	<p><b>【取組状況】</b></p> <p>計画に基づき実施中</p>	<p>・特別に支援を要する就学児童が年々増加してきている。教育的ニーズに応じた支援を保障するために、引き続き、相談の体制を整えながら、効果的に相談を進めていく。</p>	<p>・引き続き、相談希望者の状況を考えながら、より効果的な相談方法を考え、実施していく。</p> <p>・就学予定の児童とその保護者に対し、子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を保障するため、本人・保護者に十分な情報を提供し、就学に向け相談を行う。</p>	学校教育 担当
	<p><b>令和4年度の取組予定</b></p> <p>・引き続き、相談希望者の状況を考えながら、より効果的な相談方法を考え、実施していく。</p> <p>・就学予定の児童とその保護者に対し、子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を保障するため、本人・保護者に十分な情報を提供し、就学に向け相談を行う。</p>	<p><b>【上記の詳細】</b></p> <p>・お子さんの就学に対して不安のある保護者に、4月から順次、相談を行った。</p> <p>・お子さんの状況・心配している内容等を把握し、希望がある場合は、小学校の見学を設定し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、学校での教育活動をご覧いただき、就学に向けての相談を繰り返した。</p>			

宮代町健康増進計画及び食育推進計画 事業実施状況調査票（令和4年度分）

（5）健診・検診 目標「健診・検診を受けて、自分の健康を確かめよう」

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の実施内容、効果等		令和5年度の実施内容、効果等	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等	令和5年度の実施内容、効果等 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	
P54 (5)-1	<b>乳幼児健康診査の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	未来所者の健診が適切な時期に受けられるように支援の期限を設定して対応し、受診を促す。	健診未来所者の受診勧奨の期限や間隔、手法を検討し受診を促す。未受診者に対して訪問や面接など目視で親子の状況を確認する。	健康増進 担当
	4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児の健康診査を実施します。	【上記の詳細】 各健診を年12回実施し、4か月児健診は183人、10か月児健診は198人、1歳6か月児健診は211人、3歳児健診は249人が受診した。	感染予防のため中止としていた小集団指導を再開し、歯科や栄養の保健指導も行っていく。	R5年5月から小集団での保健指導を再開する。	
	令和4年度の実施予定 未受診者に対して、地区担当保健師が訪問や面接などで親子の状況を把握していく。	【上記の詳細】 受診勧奨の期限や間隔、手法などをケース会議で検討し、未受診者全員に面接や訪問で母子の状況を確認し、必要に応じて助言支援を実施した。			
P54 (5)-2	<b>●各種がん検診等の実施・受診勧奨</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	コロナによる受診控えは少しずつ回復している。受診の必要性や安心して健診を受けられる工夫をし、がん検診と要精密検査となった方の受診率の向上を目指す。	引き続き個別通知、広報、ホームページ、チラシ等を通じてがん検診の受診勧奨を行う。また、大腸がん検診の受診率向上に向け、新たに集団健診を導入する。	健康増進 担当
	・胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・肝炎ウイルス検診は40歳以上の方を対象に、子宮頸がん検診は20歳以上の方を対象に実施するとともに、早期発見・早期治療を目的に対象者に受診勧奨を行い、受診率の向上に努めます。 ・乳幼児健康診査で来所した保護者に対して、がん検診の受診勧奨を行います。	【上記の詳細】 ・広報やホームページを通じて、各種がん検診の受診勧奨を行った。 ・集団健診の申込では、従来の電話予約に加え新たにインターネットによる申込を導入した。 ・20～69歳までの方に、胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診の個別通知を発送した。 ・新40歳の方に肝炎ウイルス検診の個別通知を発送した。 ・要精密検査となった方への受診勧奨や要精密検査未受診の方への受診勧奨を実施した。 ・1歳6か月児健診、3歳児健診の保護者に乳がん検診、子宮頸がん検診のパンフレットを配布し受診勧奨を行った。			
	令和4年度の実施予定 ・広報やHPを通じて、各種がん検診の受診勧奨を行う。 ・20～69歳までの方に、胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診の個別通知を実施する。 ・新40歳の方に肝炎ウイルス検診の個別通知実施する。 ・要精密検査となった方への受診勧奨や未受診者への受診勧奨を行う。 ・1歳6か月児健診、3歳児健診等で子宮頸がん検診及び乳がん検診のチラシを配布し受診勧奨を行う。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P54 (5)-3	<b>骨粗しょう症検診の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	受診率の向上に向けて、広報等による周知を充実させることが重要。	引き続き感染症対策をとりながら実施していく。検診対象者の受診を促すため、周知媒体や周知内容を見直し、受診率の向上に努める。	健康増進 担当
	骨粗しょう症検診は40・45・50・55・60・65・70歳の女性に検診を実施し、早期に骨量減少者を発見し、骨粗しょう症を予防します。	【上記の詳細】 対象の1,416名に個別案内を通知し、248名が受診した。広報周知の際は、対象年齢について目に入りやすい位置に記載した。検診当日は、換気や消毒、ソーシャルディスタンスの確保により、感染症対策をとった。受診者には結果の見方と栄養講話を実施した。紹介状対象者の5名には、紹介状を通知した。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> ・定員数の増加を検討する。 ・引き続き感染症対策を講じ、安心して検診を受診していただけるよう努める。 ・対象年齢がわかりやすいよう、広報周知の表現を見直す。				
P54 (5)-4	<b>がん検診等結果報告の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	各種がん検診の状況について最新の情報を発信していくことが重要。要精密検査になった方へ個別通知し、早期発見・治療に結びつくよう受診を促していくことが必要。	集団健（検）診や健康教育等で宮代町のがん検診の実施状況やがん発見数について報告し、がん検診の受診率向上と要精密検査受診率の向上に努める。	健康増進 担当
	各がん検診の結果について、検診や健康教育等で宮代町のがんの状況について報告を行い、がん検診の受診率向上と要精密検査受診率の向上に努めます。	【上記の詳細】 広報8月号のミニ特集でがん検診について掲載した。集団健（検）診や健康教育等で、宮代町のがん検診の実施状況やがん発見数等を報告し、受診率向上に努めた。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> 集団健（検）診や健康教育等で宮代町のがん検診の実施状況やがん発見数について報告し、がん検診の受診率向上と要精密検査受診率の向上に努める。				
P55 (5)-5	<b>●40歳の健康教育の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	健活講座の再開を検討する。	講話や配布資料等で検診の情報提供を行い、定期的な受診を促す。	健康増進 担当
	検診デビューの年齢に対して個別通知を行い、これから受けられる検診についての情報提供や健康教育等を行い、自らの健康について考える機会とします。	【上記の詳細】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため講話は中止としたが、受診者に健診の受け方等のパワーポイントを流したり、資料を配布し情報提供を行った。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> 講話や配布資料等で検診の情報提供を行い、定期的な受診を促す。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P55 (5)-6	●健診・検診に関する情報提供や意識啓発	【取組状況】 計画に基づき実施中	コロナによる受診控えは少しずつ回復している。定期的な受診の必要性や受診方法の周知を行っていく必要がある。	引き続き、広報、ホームページ、保健センターガイド、個別通知、各種教室にて、健診・検診に関する情報提供や意識啓発を行う。	健康増進 担当
	広報、ホームページ、保健センターガイド、個別通知、各種教室にて、健診・検診の受診方法や予防に関する情報の提供を行います。	【上記の詳細】 広報、ホームページ、保健センターガイド、個別通知、各種教室にて、健診・検診に関する情報提供を行った。			
	令和4年度の取組予定	引き続き、広報、ホームページ、保健センターガイド、個別通知、各種教室にて、健診・検診に関する情報提供や意識啓発を行う。			
P55 (5)-7	●特定保健指導「みやしろ健康会」の実施	【取組状況】 計画に基づき実施中	健診受診時に初回面接を実施し特定保健指導利用者が増えたものの、継続支援を希望しない利用者が一定数いる。	特定保健指導利用者の取組が継続できるよう、支援の介入時期・頻度を見直し、脱落を防ぐ。	健康増進 担当 国保・後 期担当
	特定健康診査を受診し、メタボリックシンドローム予備群または基準該当となった方に、メタボリックシンドロームの予防に向けた講義・実習・個別相談を行います。	【上記の詳細】 10月の集団健診では、特定保健指導対象見込み者に初回面接を行い、早期から生活習慣の改善を促した。特定保健指導の支援内容では、運動講座や栄養講座において、講義内容や配布資料等を改良し、日頃の取組を後押しする内容とした。			
	令和4年度の取組予定	実施率向上に向け、集団健診時に特定保健指導の対象と見込まれる方に対し、初回面接を実施するプログラムについて検討する。 特定保健指導実施率は33.2%と、昨年度の23.0%から向上した(令和5年3月末時点の内部実績)。			
P55 (5)-8	血糖コントロール教室の実施	【取組状況】 計画に基づき実施中	参加者の増加や改善率の向上に向け、より充実した事業プログラムが求められる。	募集チラシは、写真等を用いて教室内容が分かるように作成する。また、感染状況を見ながら調理実習を再開し、参加者の増加及び食習慣の形成に努める。	健康増進 担当 国保・後 期担当
	健康診断等で糖代謝が気になる方を対象に、糖尿病の一次予防・重症化予防に向けた講義・実習を実施します。	【上記の詳細】 3日間コースで実施、延べ50名参加した。参加者の内、40代2名・50代2名の参加があった。デザインの見直しを行った募集チラシにより、参加者数は増加した。参加者の内希望者は教室終了後、食事記録及び取組みの記録票の提出を行い、教室後の取組についての支援を行った。			
	令和4年度の取組予定	幅広い年齢層の参加促進のために、教室案内や通知の見直しを行う。			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P55 (5)-9	<b>保育園での内科検診の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	検診日欠席の園児への対応	年3回の検診を実施する。検診日の事前周知（園だより・保健だより等を利用）を徹底し、受診できるようよびかけ受診率をあげる。	みやしろ 保育園 国納保育園
	内科検診を年2回実施します。	【上記の詳細】 各園の園医による全園児を対象とした内科検診を年2回実施。異常のあった場合は、個別で内容を伝えかかりつけ医院への受診をうながした。			
P55 (5)-10	<b>令和4年度の取組予定</b>	検診日の事前周知（園だより・保健だより等を利用）を徹底し、受診できるようよびかけ受診率をあげる。 町立2園の内科健診日をずらして実施し、どちらかの園で検診を受けられるように保護者に周知し、受診率をあげる。	・計画どおりに各学校に協力していただきながら実施することができた。	・引き続き、翌年度4月に就学する児童に対し、保健上・教育上必要な助言等を行うことを目的に、10月・11月に就学時健康診断を実施する。 ・その際、就学予定者の状況をあらかじめ把握し、効果的に就学時健康診断を行えるようにする。	学校教育 担当
	<b>就学時健康診断の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中			
	翌年度4月に就学する児童に対し、就学予定者の状況をあらかじめ把握し、保健上必要な助言等を行うことを目的に、年1回10月に実施します。	【上記の詳細】 ・お子さんの就学に対して不安のある保護者に順次相談を行い、状況を把握した上で、就学時健康診断を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、予定どおり10月に実施し、翌年度就学のお子さんの状況を把握し、保健上・教育上必要な助言を行った。			
	<b>令和4年度の取組予定</b>	・引き続き、翌年度4月に就学する児童に対し、保健上・教育上必要な助言等を行うことを目的に、10月・11月に就学時健康診断を実施する。 ・その際、就学予定者の状況をあらかじめ把握し、効果的に就学時健康診断を行えるようにする。			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P55 (5)-11	<b>児童生徒の健康診断の実施</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり、規定の健康診断を行うことができた。</li> <li>・学校医からの指導を受け、健康について適切な指導を継続的に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、宮代町立小・中学校在籍の小・中学生を対象に、病気の早期発見、健康管理を目的に年1回眼科検診、心臓検診（小1、中1）、色覚検査（小4のみ）、尿検査と学校医による内科検診、脊柱側弯検査、運動器検査を実施する。</li> <li>・学期1回身長、体重測定、成長曲線により体の健康管理と疾病の早期発見に努める。</li> </ul>	学校教育担当
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮代町立小・中学校在席の小・中学生を対象に、病気の早期発見、健康管理を目的に年1回眼科検診、心臓検診、小学4年生のみ色覚検査、尿検査と学校医による内科検診、脊柱側弯検査、運動器検査を実施します。</li> <li>・学期1回身長、体重測定、成長曲線により疾病の早期発見に努めます。</li> </ul>	<b>【上記の詳細】</b>			
	<b>令和4年度の取組予定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり、宮代町立小・中学校在籍の小・中学生を対象に、年1回眼科検診、心臓検診（小1、中1）、色覚検査（小4のみ）、尿検査と学校医による内科検診、脊柱側弯検査、運動器検査を実施した。</li> <li>・その後の健康指導を継続的に行った。</li> <li>・学期1回身長、体重測定を行い、成長曲線を見ることにより、自己の体の健康管理と疾病の早期発見に努めさせる指導を行うことができた。</li> </ul>			
P55 (5)-12	<b>●特定健康診査の実施・受診勧奨</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40代、50代の受診率の向上が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き実施する。</li> </ul>	国保・後期担当
	40歳以上の国保加入者に、生活習慣病の予防と健康増進の目的から特定健康診査を実施します。	<b>【上記の詳細】</b>			
	<b>令和4年度の取組予定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団健診においてインターネット予約を導入することにより受診率の向上を図った。</li> </ul>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診対象者の状況を受診履歴、年代、性別、健診結果値等を基に人工知能による分析・分類し、効果的な勧奨通知の送り分けを行う。</li> <li>・インターネット予約の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1.個別健診 実施期間 令和4年6月～11月</li> <li>2.集団健診 実施日 令和4年10月24日～10月30日</li> <li>3.対象者数 5,085人(R5.3.28現在)※前年度 5,429人</li> <li>4.受診者数 2,241人(R5.3.28現在)※前年度 2,552人</li> <li>5.受診率 44.1%(R5.2.28現在)※前年度 47.0%</li> </ul>			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P55 (5)-13	<b>人間ドック受診者への補助の実施</b>	計画に基づき実施中	・特になし	・引き続き実施する。	国保・後 期担当
	40歳以上の国保加入者に、生活習慣病の予防と健康増進の目的から人間ドックの補助を行います。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	1.補助上限額27,000円(※同一年度に特定健診を受診した場合は17,000円) 2.申請件数 293件(前年度297件) 申請件数は、被保険者数の減に伴い、減少傾向にある。			
P56 (5)-14	<b>生活習慣病重症化予防対策事業の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	・町の保健指導の参加者の増加を図る。	・未受診者に対する受診勧奨について、通知時に参加医療機関名簿も添付することで、事業への参加を促す。	国保・後 期担当
	糖尿病高リスク未受診・受診中断者及び糖尿病性腎症通院中のハイリスク者に、糖尿病の重症化予防及び人工透析への移行予防に対する働きかけを行います。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	1.医療機関の未受診者・受診中断者に受診勧奨を実施した。 第1回目 対象11名、第2回目 対象6名 2.重症化リスクの高い対象者75名に町の保健指導プログラムの参加を勧奨した。参加者9名 3.近隣市町との相互乗り入れ(春日部市、杉戸町、幸手市)を行い、対象者の増加に努めている。			
P56 (5)-15	<b>後期高齢者健康診査の受診促進</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	・受診率は、県内平均(令和3年度32.6%)を上回っているものの、対象者の4割にも満たない状況であり、受診勧奨を積極的に実施する必要がある。	・受診勧奨通知の対象者を精査し、効果的な勧奨に努める。	国保・後 期担当
	後期高齢者医療の加入者に、生活習慣病の予防と健康増進の目的から健康診査を実施します。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	1.個別健診 実施期間 令和4年6月～11月 2.集団健診 実施日 特定健診、がん検診と同時実施 3.対象者数 5,558人(R5.3月末現在)※前年度 5,230人 4.受診者数 2,175人(R5.3月末現在)※前年度 1,878人 5.受診率 39.1%(R5.3月末現在)※前年度 35.9%			
	・人間ドックの助成のお知らせを広報及びホームページに掲載する。また、特定健診受診券の送付時にもお知らせを実施する。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等	(左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	
P56 (5)-16	人間ドック受診者への補助の実施  後期高齢者医療の加入者に、生活習慣病の予防と健康増進の目的から人間ドックの補助を行います。  人間ドックの助成の周知を継続して行う（広報・HP・通知・SNS）。	【取組状況】	・特になし	・引き続き実施する。	国保・後期担当
		計画に基づき実施中			
		【上記の詳細】			
		1.補助上限額は27,000円(※同一年度に特定健診を受診した場合は17,000円) 2.申請件数 141件(前年度129件)			
令和4年度の取組予定					



計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当		
		実施内容、効果等	課題、改善点等				
P56 (5)-17	<b>後期高齢者のフレイル対策の実施・促進</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の实情に合わせた実施事業（対象事業・対象者等）の絞り込み。</li> <li>・既存事業（関係機関）との連携。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施の計画の策定。</li> <li>・国保連合会主催の医療データ分析等の研修会への参加。</li> <li>・先進自治体の事例研究。</li> </ul>	国保・後期担当		
	後期高齢者のフレイル対策に取り組みます。	<b>【上記の詳細】</b>					
	<b>令和4年度の取組予定</b> ・企画・調整・分析を担当する医療専門職を配置し、既存事業の実態把握、分析を行い、事業の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画・調整担当の医療専門職を配置し、地域の健康課題の分析を行った。</li> <li>・令和6年度から実施する高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施の計画策定に向けた準備。</li> <li>・県や広域連合の主催する研修会に参加。</li> <li>・計画策定に必要なデータを基に、町健康介護課と打合せを適宜実施した。</li> </ul>					
	<b>後期高齢者のフレイル対策の実施・促進</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	高齢化率が年々上昇している中で、若いうちからフレイル予防について広く啓発していくことが重要である。	高齢者に加え、若い世代を対象とした事業においても、フレイル予防に関する啓発を行っている。		健康増進担当	
	後期高齢者のフレイル対策に取り組みます。	<b>【上記の詳細】</b>					
	<b>令和4年度の取組予定</b> 引き続き、健康教育事業等でフレイル予防について周知していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「健康長寿サポーター養成講習」にてフレイル予防の概要を説明した。また、「貯骨とエクサ！」では筋力トレーニング等を実施し、家庭での運動の取組を促した。さらに、「知っ得！けんこう講習」では、歯科・運動の面から講義・実技を通じてフレイル予防を啓発した。</li> </ul>					
	<b>後期高齢者のフレイル対策の実施・促進</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	指輪っかテストを初めて実施する方が多く、周知が課題。	体力測定での指輪っかテストの継続			高齢者支援担当
	後期高齢者のフレイル対策に取り組みます。	<b>【上記の詳細】</b>					
	<b>令和4年度の取組予定</b> 体力測定での指輪っかテストの継続	町の介護予防事業や出前講座で実施した体力測定において、のべ134人に対し指輪っかテストを行った。					

宮代町健康増進計画及び食育推進計画 事業実施状況調査票（令和4年度分）

（6）社会環境の整備 目標「健康づくりの輪をひろげよう」

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P58 (6)-1	●すくすく広場（ママ・パパ教室同窓会）の実施	【取組状況】 未実施または事業終了	育児の悩みを話せる場や仲間づくりのニーズがあり、交流を図れる支援が必要である。	R5年度プレママ教室春コース参加者から、同窓会を開催する。	健康増進 担当
	ママ・パパ教室の参加者や希望者に、母親同士の交流と正しい育児情報を提供することで、育児の孤立化及び育児不安の軽減を図ります。	【上記の詳細】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。			
	令和4年度の取組予定				
	コロナウイルス感染状況を踏まえながら、感染防止策を講じたうえで実施していく。				
P58 (6)-2	発達の違いのあるお子さんの支援	【取組状況】 計画に基づき実施中	子どもの発達を促し、母の育児を支援するため親子の支援を継続していく必要がある。	ことばや発達の遅れのあるお子さんへの支援として引き続きかるがもクラブや個別のことばの相談を実施する。	健康増進 担当
	個別のことばの相談や心理相談、子どもの発達を促すための親子で参加するかるがもクラブ、障害のある子どもの情報交換会を実施し、親子の支援を行います。	【上記の詳細】 換気をするなどして感染対策を講じて実施した。かるがも教室は、新型コロナウイルス感染症予防のため人数を少なくし、2グループ制として実施した。かるがも教室や情報交換会実施時も換気を行い、おもちゃはその都度終了後に消毒をし感染対策を行った。カンファレンスで個々の支援について検討し、適切な支援を実施した。			
	令和4年度の取組予定				
	相談対応のスキルアップや関係機関との連絡調整等により、個々に応じた適切な支援を実施する。				
P58 (6)-3	●適量飲酒、受動喫煙防止についての啓発	【取組状況】 計画に基づき実施中	様々な機会を通じて、適正飲酒や受動喫煙防止について啓発を継続していく必要がある。	各種健康教室や健診等の機会において、引き続き普及啓発を行う。	健康増進 担当
	・健康教育やがん検診、ママ・パパ教室等で普及啓発を行います。	【上記の詳細】 健康長寿サポーター養成講座や、プレママ教室、母子手帳交付時の面接等で、適正飲酒や受動喫煙防止について普及啓発を行った。また、集団検診（健診）の際にDVDを流し、意識啓発を行った。			
	令和4年度の取組予定				
	各種健康教室やママ・パパ教室、検診等の機会を使い、適正飲酒や受動喫煙防止についての啓発を行う。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P58 (6)-4	健康手帳の普及  40歳以上の町民に、健康手帳を有効活用した健康管理と健康意識向上を促します。 <b>令和4年度の取組予定</b> 様々な機会を通して健康手帳のダウンロードについて情報提供していく。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	個々にあったツールを活用し、自身で健康管理をしていくことは重要である。健康手帳も健康管理に活用できるものとして、情報を発信して必要がある。	健康手帳について、冊子や電子データ等、個々の用途に合ったツールを提供し、健康管理を促す。	健康増進 担当
		<b>【上記の詳細】</b> 冊子の健康手帳は5名に配布した。また、厚生労働省が提供するダウンロード版健康手帳について、町ホームページで周知した。			
		<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中			
		<b>【上記の詳細】</b> 冊子の健康手帳は5名に配布した。また、厚生労働省が提供するダウンロード版健康手帳について、町ホームページで周知した。			
P58 (6)-5	健康長寿サポーター養成講座の開催  町民に対し、健康づくりの知識を身につけ実践する「健康長寿サポーター」の養成を行います。 <b>令和4年度の取組予定</b> スーパー健康長寿サポーターの活動内容について引き続き検討する。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	健康づくりのきっかけとなるよう、健康長寿サポーター養成講座の養成の機会を継続する。	健康長寿サポーター養成講座の実施を継続。	健康増進 担当
		<b>【上記の詳細】</b> 町民に健康長寿サポーター養成講座を年2回、23名に実施した。町内の高齢化等の状況や、がん発見者数などの現状を説明、健康づくりの必要性を伝えた上で、自身や家族・地域社会での健康づくりについて情報提供を行った。			
		<b>【取組状況】</b> 計画に基づき概ね実施中			
		<b>【上記の詳細】</b> 宮代町食生活改善推進員協議会に、生活習慣病予防に関する講座を実施し、18名が受講した。			
P59 (6)-6	出前講座の実施  町民に対し、健康づくりに関する普及啓発を行います。 <b>令和4年度の取組予定</b> 感染防止策を講じながら、町民の希望に応じて出前講座を実施する。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき概ね実施中	新型コロナウイルス感染拡大前と比較すると、出前講座を利用する団体は減っている。	感染防止策を講じながら、引き続き町民の希望に応じた講座を開催する。	健康増進 担当
		<b>【上記の詳細】</b> 宮代町食生活改善推進員協議会に、生活習慣病予防に関する講座を実施し、18名が受講した。			
		<b>【取組状況】</b> 計画に基づき概ね実施中			
		<b>【上記の詳細】</b> 宮代町食生活改善推進員協議会に、生活習慣病予防に関する講座を実施し、18名が受講した。			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P59 (6)-7	<b>保健センターガイドの発行</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	様々な世代が見やすく、分かりやすい内容で作成することが重要である。	引き続き、新しい情報を取り入れ、幅広い世代がより利用しやすいガイドを発行する。	健康増進 担当
	保健センターでの事業をわかりやすく掲載し、検診・教室等を通して自らの健康を振り返り健康づくりに生かせるよう、健康に関する事業の情報提供に努めます。	<b>【上記の詳細】</b> 令和4年度版ガイドは所内や公共施設で配布した他、赤ちゃん訪問等で事業説明に活用した。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> 引き続き、新しい情報を取り入れより幅広い世代が利用しやすいガイドを発行する。	令和5年度版ガイドを作成し、令和5年3月末に世帯配布した。出産・子育て応援給付金事業や定期予防接種、がん検診等、新たな取組となる情報について周知の機会とした。			
P59 (6)-8	<b>●健康サークルの紹介</b>	<b>【取組状況】</b> 未実施または事業終了			健康増進 担当
	健康サークルの情報を紹介し、身近な所で運動の機会を増やすことの意識啓発を行います。	<b>【上記の詳細】</b> 新型コロナウイルス感染拡大が懸念される中、活動が不定期である等、最新の状況について情報を提供していくことが難しいと考えられることから、本事業は終了とした。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> 新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、健康サークルの情報紹介のあり方について検討していく。				
P59 (6)-9	<b>感染症情報の提供</b>	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	感染症の流行状況やワクチン接種状況は短期間のうちに変化するため、状況に応じて情報を更新していくことが重要である。	感染症に関する正しい知識と、流行の感染症情報等を適宜更新し提供する。	健康増進 担当
	感染症の予防対策などをホームページ等で情報提供し、流行を未然に防ぎます。	<b>【上記の詳細】</b> 広報みやしろや町のホームページ等で感染症に関する情報を発信した。ワクチン接種状況を町のホームページやSNSで情報提供した。			
	<b>令和4年度の取組予定</b> 感染症の状況や予防について、適宜情報を更新して提供していく。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P59 (6)-10	<b>乳幼児、児童、高齢者等の予防接種の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	HPVワクチン接種については、令和5年度から新たなワクチンが追加され定期接種がスタートすることから令和4年度に周知に努めたが、令和5年度は引き続き周知する必要がある。	予防接種については、引き続き個別案内や健診等で周知を務めるとともに町広報やホームページ、LINEなどにより広くお知らせしていく。	健康増進 担当
	対象者に対し、予防接種により免疫をつくり、感染症の発症を予防、または軽症化します。	【上記の詳細】 ・子どもの予防接種については、訪問や健診など機会あるごとに説明を実施した。 ・HPVワクチン接種については、4月に対象者へ個別通知するとともに、町ホームページやLINEにて広く周知を図った。 ・高齢者肺炎球菌ワクチン接種については、対象者へ個別通知を行った。			
	令和4年度の取組予定 ・子供の予防接種については引き続き訪問や健診、健康相談等で説明や確認を実施していく。 ・HPVワクチンについては、スムーズに接種ができるように定期接種対象者やキャッチアップ対象者への通知を行う。 ・高齢者肺炎球菌ワクチン接種については対象者への個別通知を実施する。				
P59 (6)-11	<b>献血についての情報提供</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	献血確保は、今後も必要であることから、町内においても献血者数を確保できるよう努めていく必要がある。	血液センターと連携し、献血機会を設け献血者数の確保を図る。	健康増進 担当
	病气やけがなどで輸血を必要としている患者の尊い生命を救うため、年齢16歳以上、体重50kg以上（65歳以上の場合、60歳から64歳の間に献血経験のある者）に対し、協力が得られるように働きかけます。	【上記の詳細】 役場で3回、日本工業大学で3回、合計287人の方に献血の協力をしていただいた。役場献血にあっては、駅前広場等にポスター掲示するなど周知に務めた。 なお、宮代高校は中止となった。			
	令和4年度の取組予定 引き続き埼玉県赤十字血液センター等と連携し、多くの方に献血に協力していただけるよう働きかけていく。				
P59 (6)-12	<b>とねっとの普及</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	令和5年度で終了するため、他の環境を検討する必要がある。	国及び県の動向を踏まえ最新の情報を提供し、新システム稼働時には多くの方が利用できるような働きかける。	健康増進 担当
	もしもの時、より安心して質の高い医療が受けられるよう、とねっとに関する情報を提供し、加入者が増えるような働きかけを行います。	【上記の詳細】 ホームページや保健センターガイドにて、とねっとに関する情報提供を行い、新規に35人加入した。			
	令和4年度の取組予定 引き続きとねっとに関する情報を提供し新規加入者の増加に努める。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P59 (6)-13	<b>「縁じょい」活動の促進</b>  定年を迎えた世代と地域との繋がりをつくることを目的に、身近な活動に関する情報や参加機会の提供、相談支援などを行います。  <b>令和4年度の取組予定</b> 若い世代を獲得するため、動画を利用した情報発信を行う。YouTube上に縁じょいチャンネルを開設し、地域活動や助け合い活動を動画で紹介していく。また、高齢者に限定したイベントではなく、孫と参加できるような三世交代型のイベントを検討する。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中	縁じょい交流会を開催できたのは良かったが、目に見える形での開催の効果は得られなかった。次に繋がる交流会を開催できるようにしたい。	高齢者だけでなく、介護者にあたる50代、60代をターゲットに「映画会&講演会」を縁じょい交流会として開催予定。また、縁じょい通信の発行、縁じょい動画のアップロードを継続して行っていきたい。	高齢者支援担当
		<b>【上記の詳細】</b> 縁じょいメンバーへの登録を促し、14名の新規登録があった。地域活動を掲載した「縁じょい通信」を年3回、地域活動団体・地域活動者を紹介する「縁じょい動画」を12本作成し、YouTube上にアップロードした。また、「新しいことに挑戦してみませんか?」というタイトルの「縁じょい交流会」を、講師に埼玉県「地域デビュー楽しみ隊」のメンバーである牧野美千子氏を迎え開催した。			
P59 (6)-14	<b>プラザサポーター養成講座の実施</b>  地域での介護予防活動において、講師として介護予防の指導ができる人材を育成します。  <b>令和4年度の取組予定</b> プラザサポーターが講師を行う出前講座メニューの実施を増やす	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき実施中		プラザサポーターが講師となる出前講座の機会を増やし、引き続きプラザサポーターが活躍できるよう支援していく。	高齢者支援担当
		<b>【上記の詳細】</b> プラザサポーター発展講座を修了した先輩サポーターが、プラザサポーター養成講座にて講師のボランティア協力を行った。(全6回) 出前講座においてはプラザサポーターが講師となり自主グループへ16回健康づくりの支援をした。			
P59 (6)-15	<b>地域交流サロン活動の促進</b>  地域交流サロンの新規立ち上げや運営に関する相談支援などを実施し、活動促進に努めます。  <b>令和4年度の取組予定</b> 継続してすべてのサロンに定期的に連絡をしていきたい。また、長期にわたり中止しているサロンに対し、感染対策の相談などに乗り少しでも不安を払拭できるようにしたい。	<b>【取組状況】</b> 計画に基づき概ね実施中	コロナが落ち着き再開するサロンも出てきたが、長期にわたり中止しているサロンがいくつかある。無理強いはできないが、再開してもらおうきっかけづくりをしたい。	引き続き定期的に連絡を取り声掛けや提案をしていきたい。また、なるべく多くのサロンを訪問し、広報紙やホームページに掲載することで、活動のモチベーションを高めていきたい。	高齢者支援担当
		<b>【上記の詳細】</b> 5月、8月、11月、3月の計4回サロンの開催状況調査を行った。長期間中止にしているサロンに対しては、声掛けはするものの開催にはいたっていない。			

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P59 (6)-16	●子育てサークルの支援	【取組状況】 計画に基づき実施中	地域子育てサロンについて周知し、サロンへの参加の機会を作る必要がある。	子育てひろば、子育て支援センターの利用者に対し、地域子育てサロンへの参加や補助制度を周知し、自主的な活動を促していく。	こども笑顔担当
	子育てひろば利用者の中から自主的に活動するグループの支援育成をすることにより、子育ての輪を広げられるようにします。	【上記の詳細】 子育て応援隊登録者等による地域子育てサロンを実施（13回）			
	令和4年度の取組予定 令和2年度から開催している「地域子育てサロン」から生まれるネットワークを活かしたイベントの実施及び子育て応援隊登録者の有効活用を検討する。				
P59 (6)-17	●子育て支援センター活動の実施	【取組状況】 計画に基づき実施中	固定された利用者の満足度を高め、新たな利用者を取り込む機会を増やす必要がある。	利用者の不安や悩みに寄り添い相談に応じる。各支援センター、地域子育てサロンの周知を図り、新規利用者にも子育てに対する不安や悩みを軽減できる場を提供していく。	こども笑顔担当 国納保育園
	就学前の育児に対する相談や助言を行い、子育ての不安の軽減を図ります。	【上記の詳細】 各支援センターにおいて、相談員、保育士、職員が子育て中の親子の遊びや交流を見守りながら、相談や支援を実施。			
	令和4年度の取組予定 子育てひろば、子育て支援センター利用者の不安や悩みに寄り添い相談に応じる。子育て相談や地域子育てサロンの周知を図り、不安、負担、悩みを軽減できる場を増やしていく。				
P59 (6)-18	●子育て世代包括支援センター（子育てひろば）活動の実施	【取組状況】 計画に基づき実施中	子育て相談や子育てひろば、各支援センターの周知を図り、講座、イベント等の参加により色々な経験ができる環境づくりの検討が必要。	年間を通して季節や状況に応じたイベントや講座の計画、周知、実施を行い、新規利用者が色々な経験ができる場を設ける。	こども笑顔担当 国納保育園
	子育て中の親子を対象に、子育てに関する情報提供・相談・親子の交流の場の提供・児童と他世代・地域との交流を図ります。	【上記の詳細】 製作やリトミックなどの講座、イベントを実施。子育て中の保護者の育児に関する不安や悩みに対する相談や支援を実施。			
	令和4年度の取組予定 引き続き、年間を通して季節や状況に応じたイベントや講座の計画、周知、実施を行い、新規利用者が色々な経験ができる場を設ける。				

計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 (左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P59 (6)-19	<b>障がい児デイサービス事業の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	一人ひとりの障がいの特性を踏まえ、家庭と連携しながらよりよい子どもの成長を促す保育の在り方が課題	月一度言語聴覚士による指導実施（継続） 各家庭と生活習慣や言語発達について3ヶ月目標の取り組みを話合う。園や家庭で無理なく子どもに合った方法で取り組みを実施し、振り返りを行う（継続）	みやしろ 保育園
	保健センターで利用の判断をした2歳児以降を対象に、みやしろ保育園で9時30分から14時30分まで実施します。	【上記の詳細】 基本的動作の指導や給食保健衛生、生活への適応訓練を一人ひとりの成長発達に合わせて支援した。			
	令和4年度の取組予定 月一度言語聴覚士による指導実施（継続） 各家庭と生活習慣や言語発達について3ヶ月目標の取り組みを話合う。園や家庭で無理なく子どもに合った方法で取り組みを実施し、振り返りを行う（継続）				
P59 (6)-20	<b>病児保育・病後児保育事業の実施</b>	【取組状況】 計画に基づき概ね実施中	病児・病後児保育を連続して利用するときは、保護者にその日の様子を伝え次の日の利用の有無を確認している。より安全に預かれるよう協力医との連携が課題である。	ホームページを活用し、広く周知することで、病気に罹った児童の看護にあたる保護者の社会的・心理的負担の軽減につなげる。協力医との連携の確認を行い、保護者が安心して預けることができる環境を整える。	みやしろ 保育園
	病気の回復期にある子どもの保育を行うため、事前登録をした後にみやしろ保育園で実施します（定員2人）。	【上記の詳細】 病児保育・病後児保育のホームページの見直しを行った。			
	令和4年度の取組予定 病児保育・病後児保育のホームページ等により周知を広め、登録率を上げることで、病気に罹った児童の看護にあたる保護者の社会的、心理的負担の軽減に繋げる。入所時に、登録利用の案内を行う。	令和4年度より減免対象を拡大した。 (市町村非課税世帯、児童扶養手当受給世帯、ひとり親家庭等医療費受給世帯) 専任看護師を配置し、登録・受付・保育を行った。 令和4年度利用数：34名 新規登録数：35名			
P59 (6)-21	<b>学校での指導、家庭教育学級での情報提供</b>	【取組状況】 計画に基づき実施中	家庭教育アドバイザーは県による派遣事業であるため、講義内容に制限があり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、グループディスカッション等による参加者相互の情報共有はできなかった。	全国的に新型コロナウイルス感染症対策が緩和されてきたため、グループディスカッション等の実施も視野に入れつつ、県や講師と相談のうえ、参加者相互の情報共有ができるよう調整を図っていく。	生涯学 習・ス ポーツ振 興担当
	小・中学生、保護者に対し、家庭の教育力の向上を図るため、「親になるための学習」「親が親として育ち力をつけるための学習」を推進し、子育てに関する不安や悩みを持つ親への支援を行います。	【上記の詳細】 町内小学校3校で新入生の保護者を対象とし、275名が参加。子供の自立を促す親の支援のあり方等についての講義を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためグループディスカッションによる参加者相互の情報共有は行えなかったが、家庭教育アドバイザーによる講義を行い、不安や悩みを持つ保護者への支援を行った。			
	令和4年度の取組予定 引き続きグループディスカッション等の実施が難しい状況なので、県や講師と相談のうえ、参加者相互の情報共有ができるよう調整を図っていく。				



計画書 管理番号	事業概要 (●は重点項目)	令和4年度の取組		令和5年度の取組予定 <small>(左記を踏まえた実施内容や新たな取組等)</small>	担当
		実施内容、効果等	課題、改善点等		
P59 (6)-22	節目でのアプローチ	【取組状況】	記念品配布封筒に、配布物 名を記載し、配布物に関心 を持たせるようにしてい る。	4年度と同様に実施予定。	生涯学 習・ス ポーツ振 興担当
		計画に基づき実施中			
	成人式の際に新成人に対し、啓発品を配布し健康に関する普及啓発を行います。	【上記の詳細】			
	令和4年度の取組予定	令和4年度の参加者222名を対象に、記念品とともに健康に関する普及啓発品を配布した。啓発品を配布することで大人としての健康等に自覚を持たせることができた。			
	3年度と同様に実施予定。				